2018
▼
2022
年度

第９次下久堅地区基本構想

自然も人も輝ける里

ひさかた

平成30年 3月

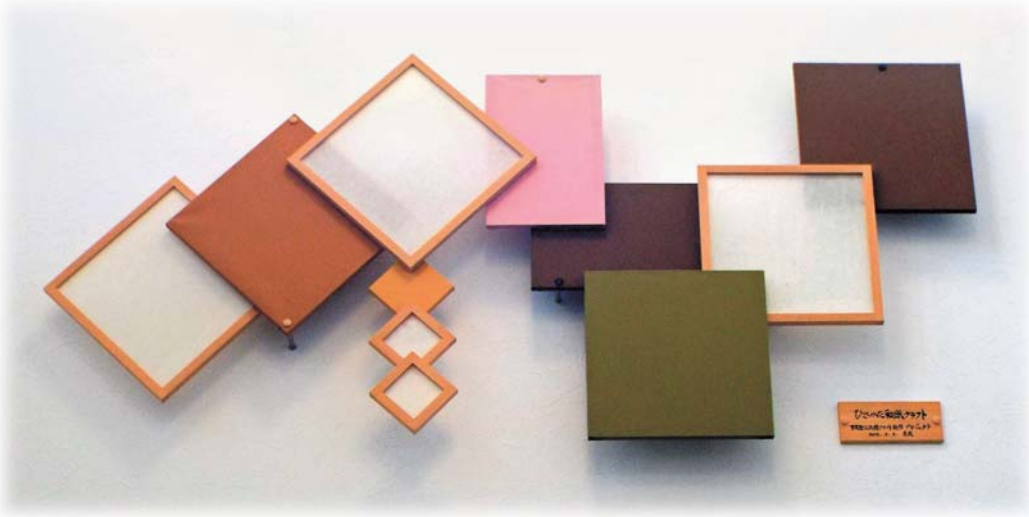
下久堅地区まちづくり委員会
下久堅地区基本構想策定委員会

自然も人も輝ける里

ひさかた

第９次下久堅地区基本構想

2018▶2022年度



「ひさかた和紙」のクラフト（下久堅公民館玄関ホール）

平成30年3月

下久堅地区まちづくり委員会
下久堅地区基本構想策定委員会

ごあいさつ

下久堅地区基本構想は、昭和52年に策定されて以来5年毎に見直しが行われ、今次で9回目の策定となりました。

およそ10年後に開通が見込まれるリニア中央新幹線並びに三遠南信自動車道等の高速交通網の整備が進む中で、私ども下久堅にも大きな変化・影響が想定され、その対応に一人ひとりが下久堅のために、何ができるか、何をすべきか考え、行動を起こしていかなければならない時期を迎えています。

平成29年12月から稲葉クリーンセンターが本格稼働し、また国道256号下久堅バイパス（水神橋～牧野内）の事業本格化等地域の状況変化が顕著になってきています。

今後、地域振興策にも記載されています県道飯田富山佐久間線改良を始めとする社会資本整備も計画的な事業着手に向け努めていかなければなりません。

策定においては、百余名の皆様からなる策定委員会での検討、そして地区住民意識アンケートを参酌した手作りの基本構想といたしました。

今回の基本構想をできるだけ多くの皆様と共有し、今後のまちづくり里づくりに生かしていくことを心から希望しています。

最後に、策定に係っていただきました皆様、ご協力いただきました皆様に敬意と感謝を申し上げ、ごあいさつといたします。

平成30年3月

下久堅地区まちづくり委員会会長
下久堅地区基本構想策定委員会委員長

平　沢　　清

目　次

Ⅰ　下久堅の生い立ち …… 3
Ⅱ　下久堅の概要 …… 4
Ⅲ　まちづくりの基本理念と基本方針 …… 7
Ⅳ　基本構想５本の柱 …… 10
　下久堅地区まちづくりの基本構想表 …… 10
　柱１　みんなでにぎわい「心豊かな里づくり」 …… 12
　柱２　地域の絆を深め「安全・安心に暮らせる里づくり」 …… 17
　柱３　誰もが心豊かに暮らせる「健康・福祉の里づくり」 …… 20
　柱４　いきいきとした「人と自然の調和する里づくり」 …… 23
　柱５　地域に愛着と誇りがもてる「心豊かな教育・文化の香る里づくり」 … 28
Ⅴ　資料 …… 33
　１　地区住民意識アンケート結果の概要 …… 33
　２　第９次基本構想策定委員会組織 …… 38
　下久堅の歌 …… 39

Ⅰ 下久堅の生い立ち

はじめに

一体下久堅にいつ頃から人が住み、生活を始めたでしょうか。

下久堅村誌によれば１万数千年前（草創期縄文時代）のものと推定される石器が、伊久間原から大原にかけて発見されました。そして、縄文時代後期の遺跡が、天竜川氾濫原の川原遺跡で発見され、少なくとも、1700～2400年前の古墳時代の後期には、私たちの祖先はあらゆる苦難と闘い、克服して集落を築き、この地を拓いてきました。

今、私たちはその地に住み、産業・文化活動等の営みを継承しています。

下久堅で発掘された石器：下久堅小学校保管

知久郷

遠く鎌倉時代のはじめ諏訪神氏の一族「知久氏」が知久平城を築き、竜東一帯を知久郷とし領民の経済・文化の振興発展に力を注いできました。その知久氏も甲斐の武田氏の侵攻による戦いに敗れ、その後廃城となりましたが、この頃に下久堅の礎が築かれました。

知久平城推定復元図

文化と交通網

かつては紙漉きと養蚕によって村と村民生活が維持され、これらは下久堅にとっての一大産業でした。紙漉きは江戸末期から昭和初期にかけて、養蚕は明治中期以降昭和30年頃にかけて、最も盛んに地区内全域で行なわれました。時とともに両産業とも衰退しましたが、紙漉きは「ひさかた和紙保存会」・公民館が中心となって、今もその文化が継承されています。

交通網では、古来より東西に走る古道「秋葉街道」が生活文化の発展を担ってきました。時を経て昭和の初めに国道256号となって当地区の幹線道路として地域形成に大きな役割を果たしてきました。

ひさかた和紙の里

自治の確立

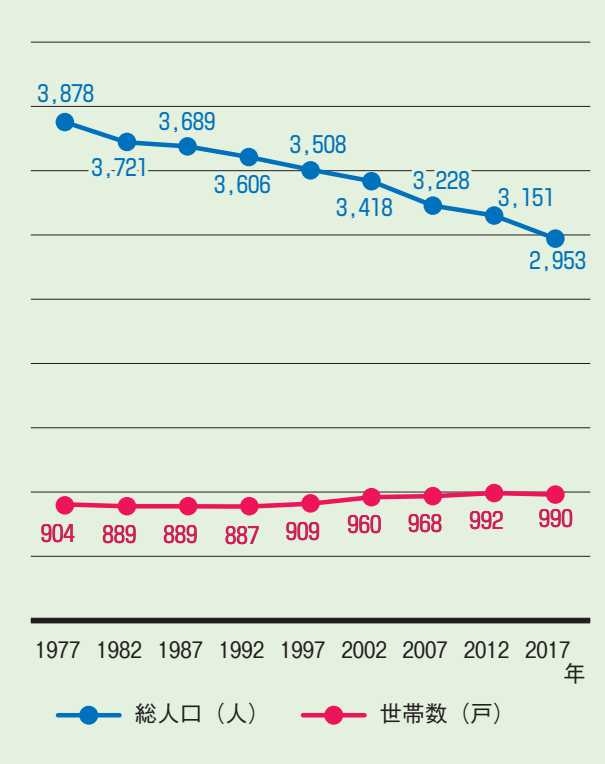
明治維新の変革は、信州知久領まで及びました。明治８年の村の再編時に、『久しく堅く結びつくように』との願いで「久堅村」が誕生し、その後も数回の分村合併を経て、明治22年３月今の７区を以て「下久堅村」となりました。

昭和28年の町村合併促進法により県の指導もあって、昭和31年９月飯田市と合併し今日に至っています。

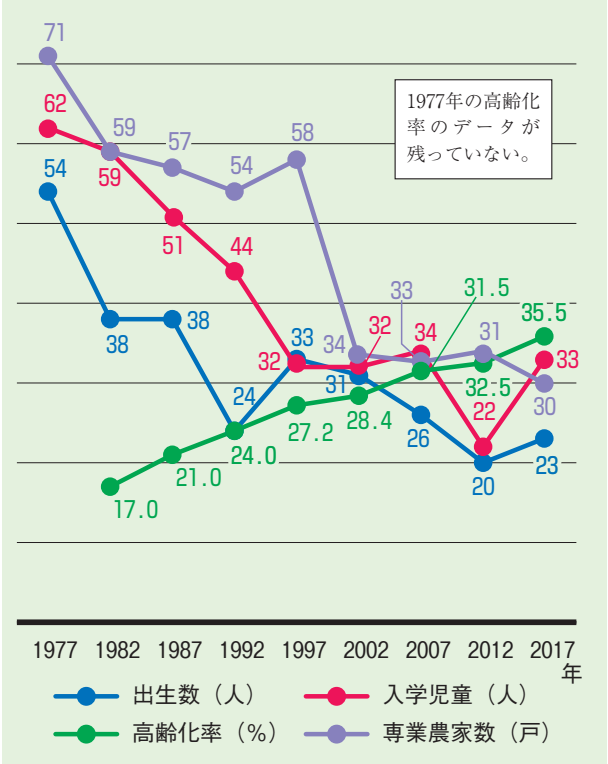
下久堅の徽章

Ⅱ 下久堅の概要

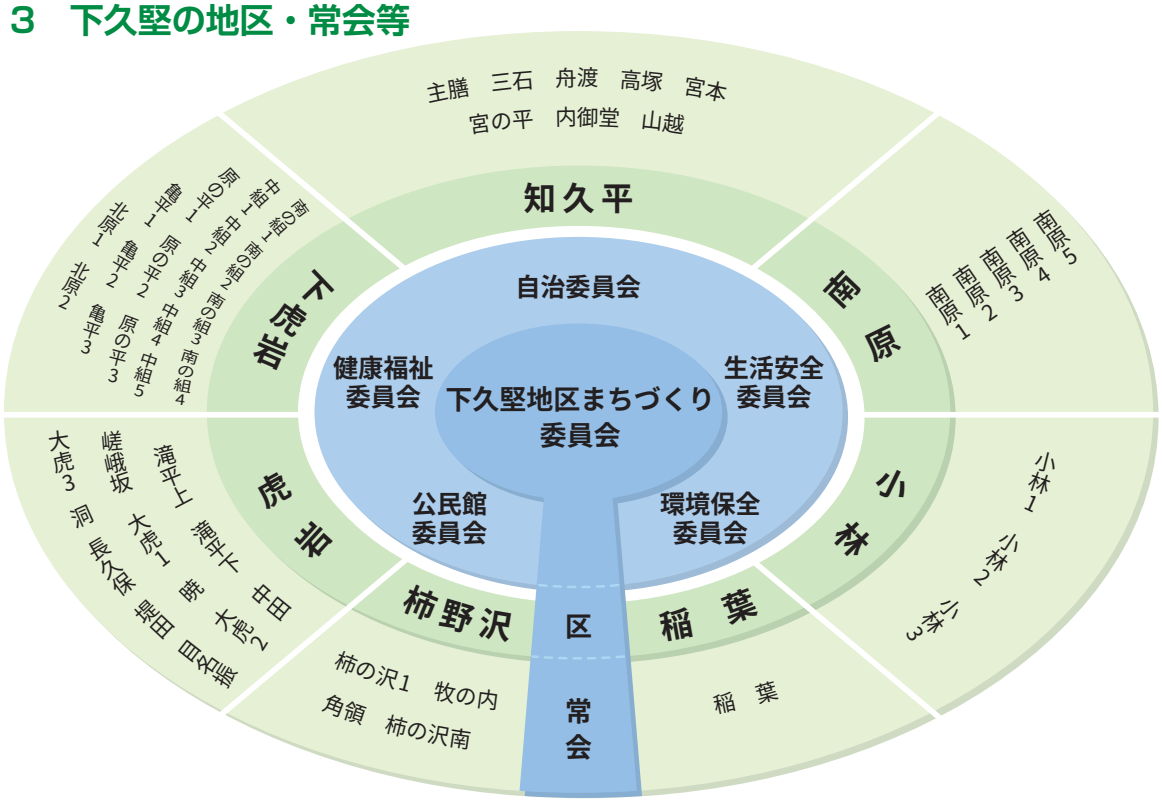
1　下久堅の人口と戸数の推移



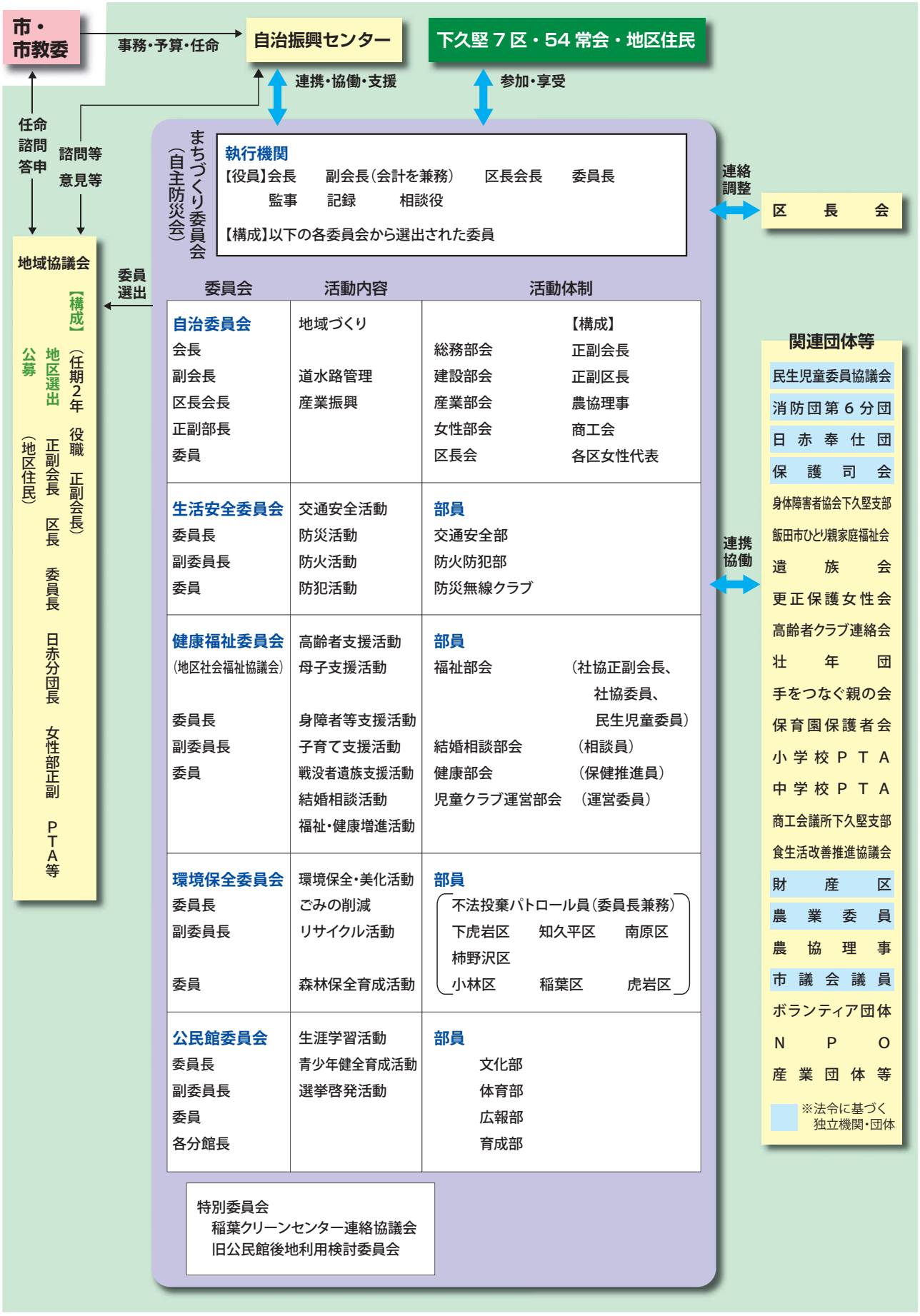
2　下久堅の出生数等の推移



3　下久堅の地区・常会等



4　下久堅地区地域自治組織　組織図（H29 年度）



5　下久堅地区自主防災会組合組織図（下久堅地区防災計画より作成）

●災害対策本部設置基準

設置基準

地　震：震度５弱以上；自動設置
　　震度５弱未満；市や行政からの指示で本部長判断
風水害：市や行政等からの指示で本部長判断
火　災：市や行政等からの指示で本部長判断

飯田市 → 下久堅自治振興センター → 本　部

各　活　動　班　へ

活　動　班	分　　担	緊急（災害対策本部設置）時	平　常　時
総　　務	まちづくり正副会長 生活安全部委員長 消防分団長 日赤分団長 地区拠点班長 （センター長）	災害対策本部の設置 被災状況把握・避難状況把握 備蓄資材、飲食物確認と配布の指示・ ボランティア活動への対応 デマ防止・財務管理・記録 情報：収集・伝達・管理	防災計画の整備・訓練実施 区民への防災意識普及・啓発 防災倉庫の整備点検 緊急時資材・食料・飲料の調達 業者からの資材等調達 避難所運営委員会組織の検討
避 難 誘 導	健康福祉委員	安否確認・避難誘導の指示 状況把握と広報活動 要支援者への対応	災害時助合マップの整備・補充 避難誘導体制の整備
救 護 炊 出	日赤下久堅分団	負傷者の救出・搬送・応急手当 防災関係機関への協力 炊出・給水・生活相談	防災・減災訓練 救助訓練・応急手当の練習 炊出用具の点検整備・炊出訓練 非常持出用具の整備
安 全 点 検	生活安全委員会	被災状況の確認 被災箇所応急対応指示 防火防犯巡回 現場確認	危険箇所把握･点検と情報提供災害時の交通上の重要箇所把握、緊急輸送路の把握 防犯パトロール
避難所開設	公民館委員会	避難所設置と運営 避難者受入・ ボランティア活動者への指示	避難所運営計画の作成 避難所運営に関する検討
環 境 衛 生	環境衛生委員会	仮設トイレやごみ処理対策 避難所防疫対策（消毒等） 避難所のゴミ分別処理地策 被災箇所の瓦礫等廃棄物処理検討 被災地区のし尿処理対策検討	仮設トイレ設置、し尿処理への対応検討 ごみ処理の検討 避難所の衛生管理の検討 災害時の防疫対策の検討
防 災 無 線	下久堅無線クラブ	下久堅地区災害対策本部と区との情報収集・伝達	体制の確保・維持・充実 年次総会の実施 防災訓練時の情報伝達訓練

Ⅲ まちづくりの基本理念と基本方針

一　基本構想の策定にあたって

1 基本構想策定の必要性

この第９次基本構想は、下久堅地区の現状から10年先20年先の望ましい地区の姿を追求し、平成30年度からの５年間の下久堅地区住民の行動目標・指針を基本構想として策定したものです。

地域のまちづくりに私たち住民が協働体として活動するには、その方向を示す郷土イメージの共通化が必要になります。その共通の郷土イメージが、特色あるまちづくりの基本構想と考えています。その実現をめざして実践する「計画・実行・評価・改善」の４つの過程によって、次期のまちづくりへと進展していきます。

この基本構想はその「計画」の過程にあたるものです。

2 基本構想の策定に当たっての課題

① 全国的な傾向である人口の減少、少子高齢化、農用地の荒廃、コミュニティの希薄化等々が当地区にも顕著に現われています。

② 若者人口が減少する中、元気ある魅力的な地域づくりを進めるために、地域住民一人ひとり（特に勤労・生産世代）の自主的･積極的な参加や行動が必須となります。

③ リニア中央新幹線、三遠南信自動車道など高速交通網の整備、さらには国道256号、県道飯田富山佐久間線の改良や、公民館、「下久堅ふれあい交流館（仮称）」の建設等々のハード整備を、下久堅地区のまちづくりに生かす必要があります。

3 基本構想を進めるに当たって

100人余の策定委員による第８次基本構想の中間・最終評価及び、地区住民意識アンケート（以下この冊子中「アンケート等」と表記）の声を反映し、第９次下久堅地区基本構想としてまとめたものです。

これまでに引き継いでいるもの、新たに取り入れたもの、拡充・補強したもの、完了したもの等、当地区に色濃く残っている「温故知新」を実践し、諸課題の解決に取り組んでいきます。

4 基本構想の進行管理

① 地区住民の意識や地区を取り巻く環境の変化を素早く的確に受け止め、期間内といえども随時計画を見直し、進捗状況を確認しチェックを行なっていきます。

② 「いいだ未来デザイン2028」、「飯田市中山間地域振興計画」、「飯田市土地利用計画」等との整合を図っていきます。

③ 地区内の各種団体等との連携と共働を図っていきます。

④ 行政機関の協力を得て事業推進と見直しを行なっていきます。

二　地区住民意識アンケートの結果から構想策定への考察

1「住民の居住感」

●「下久堅は住みやすい」が約80％となり、前回の調査時（48％）より大幅に増加している。

⇨地区住民の郷土愛を共有し、UIターン移住増加策など有効な施策を検討していきます。

2「まちづくりの今後の重点活動」

●「若者の定住」や「道路・公園・生活排水等生活環境の整備・充実」を重点としている方が、20％以上である。一方で、「再生エネルギーの利用促進」と「行政と住民の役割分担での協働のまちづくり」を挙げた方は、約2％である。

⇨地域住民は生活環境向上への意識が高いという調査結果を生かして、地域住民の協働によるまちづくりの具体的活動案の検討に取り組みます。

3「持続可能なまちづくりについての自分自身の活動」

●「円滑な近所づきあい（89％）」、「高齢者への生活支援（70％）」、「子育て支援（75％）」という結果となり、自身が可能な範囲でまちづくり活動に協力をいただいている。しかし、「自主防災・防犯等の活動への支援」が（6％）で少ない。

⇨今後、消防団・日赤奉仕団の入会にむけて具体的な取り組みをしていきます。

4 まちづくり委員会の活動への期待

●「人口減少･少子高齢化への対策（15％）」、「子育て支援活動（14％）」、「安全や防災への活動（14％）」、「地域への情報提供（7％）」等の活動に期待を寄せている。

⇨リニア中央新幹線・三遠南信道・国道256号下久堅バイパス等の開通・改良を早期実現することによって、交流人口の増加、若者の定着推進、飯田コミュニティスクールへの活動の拡大等についての具体的な施策の検討に取り組みます。

5 協働によるまちづくり活動への住民意識

●約75％の住民が、まちづくりの協働活動へ参加している。一方で、参加したいがやむを得ない事情で参加出来ない方（12％）がいる。

⇨人口減少・少子高齢化に対応し、多数の方が参加可能な活動形態を工夫して提案します。

6 地域の子育て支援策

●「児童クラブ施設の充実（22％）」、「挨拶の励行（21％）」、「家庭内でのしつけ（19％）」という結果となった。その他の意見では、飯田コミュニティスクールの具体策として、地域からの学校への支援を拡大する、児童クラブの支援員の増員等が挙げられた。

⇨新児童クラブ施設の建設が決まり、設備の充実が実現の見通しとなっている。家庭･学校･地域・放課後子ども教室との連携を密にした支援策を検討していきます。

7 自然・生活環境向上への施策

●「ゴミの不法投棄防止策（24％）」、「花いっぱい運動（19％）」、「ゴミ分別の徹底（15％）」

の対策が多く挙げられた。

⇨花いっぱい運動・沿道土手草刈り・整備、ゴミ不法投棄防止等の他に、ゴミ分別ルール改正を機に環境衛生委員による巡回指導を、地区民と共に実践していきます。

8 教育・文化分野の充実策

●「地域の将来を担う子どもの健全育成の充実」が58％となり、「社会教育・生涯学習の充実（29％）」や「地域の伝統・歴史・文化の保存や継承（28％）」の2倍となった。

⇨飯田コミュニティスクールでの地域の実践として、青少年が故郷の良さを感じられるまちづくり施策に取り組みます。

9 人口減少・少子高齢化への不安

●「歩行困難や車の運転への不安（23％）」、「高齢による経済的負担増（生活費・医療費・交通費等）（18％）」、「健康不安（13％）」、「農地の耕作が出来なくなること（13％）」という結果になった。

⇨健康福祉委員会・民生児童委員会等の具体的な活動によって、それらの不安の軽減・解消に取り組みます。

10 デイサービス施設の必要性

●「高齢者福祉施設の増設（73％）」、具体的には、「入居型特別養護老人ホームの設置（83％）」、「通所型デイサービス（17％）」となった。

⇨増加が予想される介護の必要な高齢者の福祉施設として、入居型特別養護老人ホーム設置の可能性を検討していきます。

11 稲葉クリーンセンター稼働への期待と課題

●稲葉クリーンセンターが稼働することによって、可燃ゴミの処理能力の向上等良い点が見られる一方で、ゴミ焼却による空気や水・土壌汚染等の心配、通行車両増加による排気ガス汚染や交通事故・道路整備等への不安が、課題として挙げられた。

⇨現在推進している自然保護、環境保全や道路環境整備等について、地域の協力を得ることにより実行していきます。

柿野沢ビューポイントから竜西を望む

Ⅳ 基本構想５本の柱

下久堅地区まちづくりの基本構想表

自然も人も輝ける里　ひさかた

柱１　みんなでにぎわい、心豊かな里づくり

地域振興	若者の定住環境整備と支え合う地域づくり	住宅用地確保
		子どもの居場所づくり、ふるさと意識の醸成
		空き家の幅広い利活用
		地域交通の確保
	みんなの憩いの場の整備・利活用	既存ミニ公園の利活用
		マレットゴルフ場の利活用
		稲葉クリーンセンター環境公園の利活用
	桜色に染まる里づくり	下久堅小学校と地域の協働事業の継続・記念樹の管理
		古木桜の保護・保存
		桜によるイベント等の開催
	地区住民のつながりの強化	組合加入の促進
		隣組の連携強化
	公民館の利活用	地域振興・地区住民の交流拠点
		防災の拠点
		地域の産業づくりの拠点
	「下久堅ふれあい交流館（仮称）」の利活用	地区住民のふれあいの場づくり
		「ひさかた和紙」の発信拠点
		「放課後子ども教室」と「児童クラブ」の連携
道水路改良	三遠南信自動車道の早期全線開通の推進	
	国道256号下久堅バイパスの早期全線開通の推進	
	県道飯田富山佐久間線・県道下久堅知久平線の早期実現の促進	
	生活道路・中小河川の整備・補修	
	天竜川水神橋上流・下流域の堤防建設推進	
産業振興	農業の振興	農業担い手の確保と集落毎の「人・農地プラン」策定
		地区外農業法人の誘致
		中山間農地を活用した農業経営の推進
		野生鳥獣被害対策
	商工業の振興	商工業の振興
		商工業用地の確保
	観光産業の振興	既存観光資源の活用
		ツアー・オブ・ジャパンコース利用による誘客
		広域農道の景観管理
		花いっぱいの里づくり
		都市との交流促進
		地域の特産品づくりの推進
		ホームページによる情報発信
	農業体験学習の推進	幼児・児童等の食育と農業体験学習の推進
		「農家民泊体験」の積極的な受入と受入農家の拡大
	農業後継者の育成	ワーキングホリデー、農業実習生の積極的受入
		新規就農者の誘致
		新規就農者への多面的支援
	農村景観の保全など	財産区有林の維持管理
		荒廃農地の解消と非農地化の推進
		里山の整備
		竹林の拡大防止

自然も人も輝ける里　ひさかた

柱2　地域の絆を深め、安全・安心に暮らせる里づくり		
地域の絆を育む安全･安心な里づくり	社会規範意識の向上（自助意識の向上）	
	地域の絆を深める共助の高揚	
安全･安心な里づくりの三つの分野	防災・減災の推進	防災訓練や防災・減災学習会の実施
		自主防災会の確立と防災備品の整備
		情報伝達手段の体制整備
	交通安全活動の推進	保育園、小学校、高齢者の交通安全教室の実施
		広報、学習活動の強化
		交通安全環境の整備・充実
		小・中学校通学路の除雪
	地域安全（防火防犯）の推進	防火防犯活動の強化
		子ども見守り運動への参加促進
		防火防犯施設の整備・増設
		消防団・赤十字奉仕団への支援充実
柱3　誰もが心豊かに暮らせる健康・福祉の里づくり		
健康寿命の延伸	健康的な食生活と体づくり	各区での「健康づくり事業」の推進・協力と支援
		健康的な生活習慣の実践
		地産地消の推進
	「予防」と「早期発見」の意識の向上	生活習慣病等の予防と改善
		がん検診の推進・啓発
思いやりと温かな「福祉の里」づくり	地域ぐるみで「子育て支援」	児童クラブの整備・充実
	「高齢者等の生活」の支援と体制づくり	「いきいき教室」「フォローアップ事業」の充実と「ふれあいサロン」の増設
		ごみ出し、雪かき、草取り、買い物等の日常生活支援
		「災害時助け合いマップ（住民支え合いマップ）」の整備と活用
		各地区高齢者クラブ等への支援
		福祉施設等介護サービス提供事業所との連携
		高齢者、障がい者の移動手段の確保・改善
	結婚相談体制の充実	
柱4　いきいきとした人と自然の調和する里づくり		
自然環境	水質保全	
	里山の整備・保全	
	動植物の保護・管理	
生活環境	不法投棄防止とごみの減量化・分別適正化	
	エネルギーの有効利用	
	花いっぱい運動	
	下久堅ならではの景観づくり・風景づくり	
	親しまれる公園づくり	
柱5　地域に愛着と誇りがもてる、心豊かな教育・文化の香る里づくり		
社会教育の推進・生涯学習の場づくり	地域に役立つ公民館活動の充実	住民の自主と創意・工夫による公民館活動
		社会教育機関としての公民館活動
	生涯学習の場づくり	学習交流やふれあいの支援
		読書環境の充実（市立中央図書館下久堅分館を中心として）
青少年の健全育成の推進	家庭・保育園・学校・地域の連携	親子での地域活動参加
		事業実施に当たっての連携と協力
	子育て・教育支援	安心して子育てのできる地域づくり
		乳幼児学級の充実
		子どもと地域住民のふれあいの場づくり
文化の伝承と充実	民俗、文化、建造物、自然等の歴史的遺産の伝承と保存	歴史的行事の伝承と保存
		歴史、民俗、先人の知恵の継承
		文化的遺産の保存、記録、写真などの整備
		『ふるさとマップ』などの活用と整備
		ひさかた和紙の里づくり
	文化・芸術活動の支援と育成	ツアー・オブ・ジャパンの支援
		「ふるさとコンサート」「書き初め教室」の開催
		「人形劇フェスタ」開催への支援

柱１　みんなでにぎわい、心豊かな里づくり

地域振興部会

リニア中央新幹線の建設工事開始、三遠南信自動車道天龍峡IC～飯田上久堅･喬木富田ICまでの開通、国道256号バイパス改良事業､県道飯田富山佐久間線改良、稲葉クリーンセンターの本格稼働等、今後数年間で下久堅地区は有史に残る大きな道路環境等の変化が予想され、地区発展の夢が地域の絆と先輩諸氏の長期間のご尽力によって現実化しつつあります。そして、公民館が完成し、旧公民館後地は「下久堅ふれあい交流館(仮称)」として平成30年度完成となります。

そこで、これらの両施設を合わせて『地域みんなの活動拠点』とし、「みんなが寄ってにぎわい、ふれあう場」として地域の皆様の交流を促進し、また、先述した道路環境等の大きな変容を地域づくりに活用することで、『住みたい・住みやすい・安全・安心な里づくり』に取り組みます。

リニア中央新幹線（車両）

三遠南信自動車道　天龍峡大橋（建設中）

第１節 地域振興

「アンケート等」の結果では施策の重点として、若者の定住、道路・公園・生活環境の充実・高齢者の生活改善の項目を、大多数の方々が挙げています。

そこで、インフラの建設・稲葉クリーンセンター稼働等に伴う環境変化に対応し、『自分たちの地域は自分たちが創る』という精神で取り組み、元気な活力ある里づくりを目指していきます。

稲葉クリーンセンター

１　若者の定住環境整備と支え合う地域づくり

（１）住宅用地確保

若者の定住を増やすための、用地確保、整備を推進します。

（２）子供の居場所づくり、ふるさと意識の醸成

①「下久堅ふれあい交流館(仮称)」を子どもの居場所としての活用を推進します。

②子育て支援活動の推進と、子どもたちの地域への行事参加を推進します。

地域振興住宅

（3）空き家の幅広い利活用

空き家、空き地の現状把握を行い、ＵＩターン・移住希望者の受け入れと、幅広い利用を検討します。

（4）地域交通の確保

①人口減少・高齢化に対し身近な生活交通の確保に努めます。

②買い物弱者への移動販売の情報提供等の支援を行います。

乗り合いタクシー停留所

2 みんなの憩いの場整備・利活用

（1）既存ミニ公園の利活用

地区民の憩いの場として既存の「下虎岩神明社境内」・「虎岩おんたけ山公園」などの活用・充実を図ります。

（2）マレットゴルフ場の利活用

「親水公園マレットゴルフ場」・「稲葉クリーンセンターマレットゴルフ場」の利用促進を図ります。

（3）「稲葉クリーンセンター環境公園」の利活用

環境公園内、複合遊具、周辺遊歩道のＰＲと、利用促進を図ります。

親水公園マレットゴルフ場

環境公園・複合遊具

3 桜色に染まる里づくり

（1）下久堅小学校と地域の協働事業の継続・記念樹の管理

「梶曲輪の桜」の苗を小学校卒業生に記念樹として配布して地域に桜を増やしていきます。

（2）古木桜の保護・保存

地域内の古木桜を見直し、保護・保存を支援します。

（3）桜によるイベント等の開催

桜の開花時期にイベントを開催し、桜への意識高揚を図ります。

小学校卒業生への桜苗贈呈

4 地区住民のつながりの強化

（1）組合加入の促進

地区住民のつながりの大切さをアピールし、組合未加入者に加入を働きかけます。

（2）隣組の連携強化

隣同士の共助の意識向上を図り、よりよい近所づきあいが出来るように推進します。

5　公民館の利活用

（1）地域振興・地区住民の交流拠点

「下久堅ふれあい交流館（仮称）」と共に、気軽に立ち寄れる交流拠点への取り組みを推進します。

（2）防災の拠点

災害発生時等有事の際に、災害対策本部として防災の拠点施設とします。

（3）地域の産業づくりの拠点

JA下久堅支所、近隣地域との連携による地域の産業振興に取り組みます。

6　「下久堅ふれあい交流館（仮称）」の利活用

（1）地区住民のふれあいの場づくり

乳幼児から高齢者まで、多くの地区住民が集い、にぎわう場として充実させます。

（2）「ひさかた和紙」の発信拠点

地域の貴重な文化である「ひさかた和紙」を外部へ発信し、幅広く支援します。

（3）「放課後子ども教室」と「児童クラブ」の連携

子供たちが集い、安全・安心に過ごせる居場所として充実させます。

下虎岩からの眺め

下久堅公民館　2014年12月完成

楮たくり（ひさかた和紙）

第2節　道水路改良

三遠南信自動車道の飯田上久堅・喬木富田ICまでの開通、国道256号バイパス改良など、地域の状況が大きく変貌します。また、県道飯田富山佐久間線改良の早期事業化、地域の生活道路、河川の整備も進め安全、安心に暮らせる地域をめざします。

1　三遠南信自動車道の早期全線開通の推進

2　国道256号下久堅バイパスの早期全線開通の推進

三遠南信自動車道

3　県道飯田富山佐久間線・県道下久堅知久平線の早期実現の促進

4　生活道路・中小河川の整備・補修

5　天竜川水神橋上流・下流域の堤防建設推進

水神橋下流築堤

第３節　産業振興

下久堅地区は豊かな自然と素晴らしい眺望があります。これらを生かして行政、近隣地域と連携して観光振興に取り組みます。また、少子高齢化が進む中で地域コミュニティを維持するため、主要産業である農業及び商工業の振興をはかり、農業体験学習、農業後継者育成などを推進します。

1　農業の振興

（1）農業担い手の確保と集落毎の「人・農地プラン」策定

（2）地区外農業法人の誘致

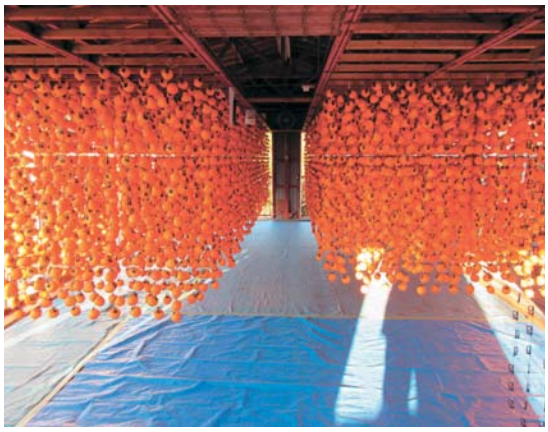
（3）中山間農地を活用した農業経営の推進

市田柿の生産拡大などを支援します。

（4）野生鳥獣被害対策

関係団体と野生鳥獣対策に取り組みます。

雪の風越山



柿すだれ

2　商工業の振興

（1）商工業の振興

三遠南信自動車道･国道256号バイパス開通を見据えた商工業の振興を図ります。

（2）商工業用地の確保

企業誘致を目指し、商工業用地の確保に努めます。

3　観光産業の振興

（1）既存観光資源の活用

既存観光資源の外部発信と、近隣地域と連携した誘客を推進します

（2）ツアー･オブ･ジャパンコース利用による誘客

ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ

コースを利用したレジャー等を模索し、誘客を検討します。

（3）広域農道の景観管理

広域農道からの素晴らしい眺望を地区外へ発信し、誘客と景観保持に努めます。

（4）花いっぱいの里づくり

花いっぱいの里づくりと、道路沿いの環境美化活動を推進します。

（5）都市との交流促進

リニア中央新幹線開通を見据え、地区の魅力発信と交流の促進をします。

（6）地域の特産品づくりの推進

リニア中央新幹線、三遠南信自動車道開通を見据えた特産品づくりを推進します。

（7）ホームページによる情報発信

幅広い内容の募集を行い、地区内外への発信をします。

4 農業体験学習の推進

（1）幼児・児童等の食育と農業体験学習の推進

（2）「農家民泊体験」の積極的な受け入れと受け入れ農家の拡大

5 農業後継者の育成

（1）ワーキングホリデー、農業実習生の積極的受け入れ

（2）新規就農者の誘致

（3）新規就農者への多面的支援

6 農村景観の保全など

（1）財産区有林の維持管理

財産区有林の適切な維持管理を行います。

（2）荒廃農地の解消と非農地化の推進

荒廃農地の現状把握を行い、非農地化を検討します。

（3）里山の整備

地区の財産である里山の整備を行い、美しい景観づくりを推進します。

（4）竹林の拡大防止

竹林の整備を行い拡大防止に努めます。

天竜川ラフティング

渋谷区との交流（どんぐり苗の植樹）

さくら種まき

財産区有林下草刈り

柱２　地域の絆を深め、安全・安心に暮らせる里づくり

生活安全部会

私たちが安全・安心に暮らしていくには、お互いを知り合い、よく解り合える人間関係を築くことが大切です。そして、みんなで考え、話し合い、協力し合える『地域の絆』を育み安全・安心に暮らせる里づくりを目指します。

安全・安心なまちづくりに関わる「アンケート等」から、予想される大地震に備えて防災・減災や、稲葉クリーンセンター稼働に伴う交通安全の確保、道路の改善等の声が寄せられました。

そこで、自分や家族と地域の絆が深まる安全・安心に暮らせる里づくりを目指します。そして、安全・安心な里づくりで「下久堅の絆」をより強くします。

第１節　地域の絆を育む安全･安心な里づくり

災害・交通事故などから自分と家族や地域の人達を守るためには、地域の絆に基づいた自助・共助を実践し、有事の時のみではなく日常的に郷土愛を育み、より安全・安心な里づくりを目指します。

１　社会規範意識の向上（自助意識の向上）

○命や財産を守るための前提として、社会規範意識が確立した下久堅住民に支えられ、自助意識の高い地域を目指します。

２　地域の絆を深める共助の高揚

○より良い近所づきあいによって、和みのある地域の実現を目指して、その安全・安心の確保のため、区会・常会などの役員と共に組合未加入「ゼロ」に取り組みます。

○個人ではできない作業（例えば、道づくり・井ざらい・雪かき・除草など）を地区の協働作業として取り組み、地域の絆を深めます。

交通安全街頭指導人波作戦

操法大会放水

交通安全教室歩行

防災訓練

第２節　安全･安心な里づくりの三つの分野

「防災・減災」「交通安全」「防火防犯」の三つの分野で、安全・安心な里づくりを実施します。

１ 防災・減災の推進

「下久堅地区防災計画」に基づき、命や財産への被害を最小限に抑える対応力を強めます。

（１）防災訓練や防災・減災学習会の実施

消防団、赤十字奉仕団と連携を密にして、防災訓練や防災・減災学習会（災害時対応など）を実施し、有事に備える支援をします。

（２）自主防災会の確立と防災備品の整備

「南海トラフ巨大地震」発生などに備え、自主防災体制や危機管理を強化します。

また、防災・減災備品の充実や、湧水の確認・井戸所有者の協力を得るなど緊急時の飲料水確保に努めます。

（３）情報伝達手段の体制整備

「土砂災害対策緊急連絡網」「災害時等助け合いマップ」を活用して、居住者への迅速な情報伝達と安否確認をします。

また、通信が困難な場合に備えて、防災無線クラブとの連携を進めます。

２ 交通安全活動の推進

交通事故防止活動を進めます。

（１）保育園､小学校､高齢者の交通安全教室の実施

交通事故に遭わない、起こさないために、高齢者の安全運転講習会を実施します。

また、保育園、小学校の交通安全教室への積極的な支援を行い、幼児・児童の交通安全意識の高揚を図ります。

（２）広報、学習活動の強化

交通法規の改正や交通事故発生の課題に対応した広報・学習活動を行い、交通安全意識の向上を強化します。

年４回の全国交通安全運動に合わせ、地域でも交通安全運動を実施し、安全意識の啓発を強化します。

操法大会（女性消防団）

避難訓練　水の確保

高齢者シニアカー体験

高齢者交通安全教室講義

（3）交通安全環境の整備・充実

交通安全環境やその設備を整備し、充実を図ります。

特に危険な場所にはガードレール、カーブミラー、溝蓋などの設置に努めます。

道路の交通支障木の除去は、壮年団を中心に地区の協働事業として取り組みます。

（4）小・中学校通学路の除雪

保育園・小・中学校の通園通学路の除雪は、区・常会等に協力を要請し、実践します。

小学校交通安全教室

3 地域安全（防火防犯）の推進

犯罪・火災発生の抑制に努力します。

（1）防火防犯活動の強化

定着している地区毎の防犯学習会、防犯パトロールを継続します。

消防団を中心に、住宅用火災警報器の設置促進を図ります。

避難所開設訓練

（2）子ども見守り運動への参加促進

関係諸団体と連携して、子どもを犯罪から守る活動を継続するための有機的な活動体制を作ります。

「下久堅子ども応援隊」として、登下校時の子どもの「見守り隊」や「安心の家」などへの参加を促進し、子どもを守る活動を充実します。

（3）防火防犯施設の整備・増設

防火防犯施設の日常の点検・修理・改善を行います。

特に、防犯灯の増設、火災の初期消火にむけた地上式防火水槽及び有蓋耐震化防火水槽などの増設にも努めます。

にこにこ赤十字健康教室

（4）消防団・赤十字奉仕団への支援充実

現在、当地区の消防団・赤十字奉仕団は、団員確保が困難であり、活動継続の危機に直面しています。

家族から理解と協力をいただくとともに、まちづくり委員会・区会・常会などの役員と連携して地区の団員確保に努めます。

防火防犯施設の現状

	下虎岩	知久平	南原	小林	稲葉	柿野沢	虎岩	計
防犯灯	58	69	39	28	12	31	57	294 (+20)
防火水槽	14	13	6	2	1	9	9	54 (±0)

＊平成29年4月1日現在（　）は前回8次からの増減

柱３　誰もが心豊かに暮らせる健康・福祉の里づくり

健康福祉部会

平成29年10月1日現在の高齢化率は、飯田市30.8%、下久堅35.5%で市内20地区中10位となっています。６年前は32.3%で、約3.2%上昇しています。

今回行なった「アンケート等」の結果では、まちづくり活動への期待として、第一に少子高齢化等人口課題の解決に向けた取り組みが挙げられています。また、調査へ回答した73%の方が、下久堅地区への高齢者福祉施設の必要性を訴えています。

そこで、地域のつながりを感じながら、家族とともに安心した生活が送れる地域福祉を進めます。また、これからも地区住民一人ひとりが健康増進に努め、地域での見守り・支えあいを大切に健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

- 下久堅地区の「結い」による「地域での見守り・共に助け合い、支えあう」ことを改めて確認し、人と人とのつながりを大切にする地域づくりに努めます。
- 「健康な身体づくりと健全な心づくり」を個々の課題として、住民一人ひとりが年齢に応じた健康づくりに努めます。
- 自助・共助・公助による「地域福祉」の推進のため、行政や関係団体と連携を図りながら、安心と心豊かな地域づくりに努めます。

竜東デイサービスセンター

ひまわりの会（独居高齢者の交流）

いきいき教室（保育園との交流）

食改伝達講習

第１節　健康寿命の延伸

「自分の健康は自分で守る」ために、年齢に応じた健康づくりの啓発と推進に努めます。

１　健康的な食生活と体づくり

自立した生活の基本は健康であること、健康は日々の生活習慣に基づいていることを認識し、食生活の見直しや運動を心がけ、健康づくりに努めます。

（１）各区での「健康づくり事業」の推進・協力と支援

各区が主体となって健康教室を開催するなど、健康づくり事業の推進・協力と支援をします。

（2）健康的な生活習慣の実践

バランスのとれた食事など､健康的な生活習慣への関心と理解を深めるための学習会・健康講座等を開催し、地域の健康づくりを推進します。

（3）地産地消の推進

穀物・野菜などの地産地消を基本とし、郷土の豊かな食を享受することに努めます。

2 「予防」と「早期発見」の意識の向上

健康管理は自己責任が基本であることを認識して、定期的に健康診断やがん検診を受け予防や早期発見の意識高揚に努めます。

（1）生活習慣病等の予防と改善

年に1回は健康診断を受けることで自分の健康に関心を持ち、生活習慣病等の予防と改善に努めます。

（2）がん検診の推進・啓発

がんの早期発見、早期治療のためには、定期的にがん検診を受けることが大切です。家族ぐるみ、地域ぐるみで声をかけ合い、検診受診の啓発強化と受診率の向上に努めます。

男の料理教室

特定健診

第2節　思いやりと温かな「福祉の里」づくり

急速に進む少子高齢化社会で高齢者の健康維持は重要なものになってきます。高齢者がいきいきと暮らせるよう､家族や地域で支え合う里づくりを目指します。

救命救急講習

1 地域ぐるみで「子育て支援」

「子どもは地域の宝」として健やかな成長を支援し、安心して子どもを育てられる環境を整えます。

（1）児童クラブの整備・充実

「下久堅ふれあい交流館（仮称)」に移転が決まり、「放課後子ども教室」との協働とさらなる充実を図ります。

2 「高齢者等の生活」の支援と体制づくり

「アンケート等」では、高齢になることで歩行や車の運転が困難になり、買い物やごみ出しなどの日常生

健康福祉講演会

活へ支障をきたすことが、悩みや不安として多く挙がっています。

そこで、地区や隣近所で日常的に「見守り･支え合う」共助の体制を進め、公助の各種制度の充実を求めます。

（1）「いきいき教室」「フォローアップ事業」の充実と「ふれあいサロン」の増設

男性も気軽に参加できる体制づくりに努めます。

（2）ごみ出し、雪かき、草取り、買い物等の日常生活支援

①要援護者が抱える日常のさまざまな不便さの課題に対し、関係機関団体等と協働し、支援します。

②隣近所での日常的な「声かけ・見守り」助け合い活動を推進します。

（3）「災害時助け合いマップ（住民支え合いマップ）」の整備と活用

マップの電子化が完成し、日常の見守り・支え合い等への活用を図り、さらなる充実に取り組みます。

（4）各地区高齢者クラブ等への支援

高齢者が仲間づくりを通して、地域社会の中でいきいきと社会活動に参加できるよう支援します。

（5）福祉施設等介護サービス提供事業所との連携

地区内にある、下久堅診療所・竜東デイサービスセンター・竜東知久平デイサービスセンター・あゆみ会等と連携し地域福祉力を高めていきます。また、近隣の地域との連携により、介護施設等の設置の実現に取り組んでいきます。

（6）高齢者、障がい者の移動手段の確保・改善

乗り合いタクシーの充実と継続、移送サービスの運転協力者の人材を確保し、継続に努めます。

3 結婚相談体制の充実

社会福祉協議会や関係機関等と連携・協力して、出会いの場づくり・きっかけづくりを進めます。また、竜東４地区間での情報交換を密にし、他地区との連携した事業に取り組みます。

児童クラブ

いきいき教室（フラワーアレンジメント）

いきいき教室（ゲーム）

支え合いマップ完成報告会

柱４　いきいきとした人と自然の調和する里づくり

環境保全部会

環境に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全活動に参加することで問題解決能力を育成します。

「アンケート等」では、特に下久堅の自然景観・眺望の良さを挙げる方が、多く見られました。また、稲葉クリーンセンター稼働については、前向きに捉える声が多く寄せられました。

それらの声を反映して、豊かな自然を利用した景観づくりや稲葉クリーンセンターを有効活用した環境教育の取り組み・生活環境改善の活動などによって、地域社会と地球規模の環境解決に向けた、地区住民の力が高まる里を目指します。

農道からの景色

環境公園･マレットゴルフ場(稲葉クリーンセンター)

第１節　自然環境

「アンケート等」から、大気汚染、水質・動植物への悪影響を心配する声も寄せられています。

そこで、水源・森林・里山・農地などの保全、環境美化を大切にする気持ちを育む活動や、地球温暖化等の環境問題に取り組みます。

１　水質保全

河川の水質を保つために、公共下水・合併浄化槽の整備がされてきましたが、より一層の適正処理を促します。

涌水・清水・井戸水の調査は済みましたが、安全な飲み水の確保､災害時の飲み水確保にも取り組みます。

天竜川河川美化活動（親水公園）

２　里山の整備・保全

里山は、先人たちが苦労して育んできた財産です。中山間地においては、高齢化・過疎化が進行し、里山の維持・管理ができない状況になってきています。一方でスローライフの促進も相まって、若者を中心に薪ストーブなどの利用も広まってきています。

暮らしの中で森林資源の活用をすることは、CO_2削減にもつながります。次世代にそうした環境を残して

木の駅（下虎岩）

いくため、地域の皆さんによる支障木伐採や草刈りを続けていくことで、人と自然が共存した里山作りを目指します。

3 動植物の保護・管理

豊かな自然の中で多種多様な動植物が、共存できる環境を保全し、整えてまいります。具体的には、昔の自然の小川のような豊かな水辺を維持し、水利があれば、もっとビオトープ（生物生息空間）を増やします。また、豊かな自然を守るため、下久堅の景観を悪くしている、アレチウリやクズ（秋の七草）などの駆除にも、地区全体で力を入れて実行していき、在来種の保護に努めます。

虎岩樹木園

南原ビオトープ（メダカ）

第２節　生活環境

「アンケート等」から、稲葉クリーンセンター稼働に伴って、周辺の生活環境への悪影響を心配する声もありました。

そこで、将来にわたって育み続けるために、大人は勿論のこと、次世代を担う子供たちに生活環境を大切にする活動を伝え受け継いでいきます。

1 不法投棄防止とごみの減量化・分別適正化

ポイ捨て・不法投棄をされない・させないために、パトロール､監視の強化と環境美化の推進に努めます。

稲葉クリーンセンターの稼働に伴うごみ分別ルール改定を機に、より一層の適正処理と、マイバック持参運動の推進など、リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）に努めます。

高齢化社会を迎える中で、ごみ出し困難者への支援をします。

虎岩から竜西を臨む

風の学舎

2 エネルギーの有効活用

私たちの暮らしの大部分が石油などの化石燃料に依存していますが、それらは限りある資源です。また、化石燃料の大量消費による大気中のCO_2の増加は温暖化に拍車をかけ、年々気候変動が激しくなってきてい

ることから、その削減が世界的に一層求められてきています。

このようなことから、当地区としても将来を見据えて、太陽光やバイオマスなどの自然エネルギーの利用を一層推進していきます。

＊バイオマスとは…再生可能な有機資源のこと。木や竹、生ごみ、家畜排泄物などです。

3 花いっぱい運動

下久堅の花いっぱい運動のシンボルである、小学校校門にある「梶曲輪（かじくるわ）の桜」の苗木を地域に広め、桜を育成・保護してまいります。

地域が一体となり花木の植栽に努め、景観と豊かな心を育みます。

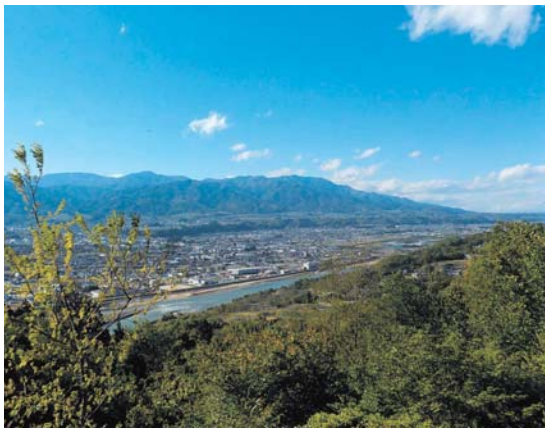
4 下久堅ならではの景観づくり・風景づくり

広域農道からの眺望は素晴らしく、多くの皆さんに感動を与えています。その広域農道の美化を進め、景観づくり・風景づくりに努めます。

5 親しまれる公園づくり

地域の皆さんの憩いの場、子どもたちの声が響く場所として、美化活動に取り組むとともに、親しみのある公園づくりを行います。（次ページのマップ参照）

おんたけ山公園


広域農道からの景観

下虎岩児童遊園

小学校「池分校」（ビオトープ）

人と自然の調和する里マップ

ザゼンソウ

亀平神社　桜

下虎岩地区の桜

北原城址公園（竜望園）

常信禅院　桜

メガソーラー（下虎岩）

カタクリ
小林観音桜
至上久堅
R256
至千代
稲葉公民館
稲葉地区
小林ドッグセンター
柿野沢地区
環境公園
マレットゴルフ場
稲葉クリーンセンター
飯田乗馬クラブ
久堅農園
芭蕉句碑
ツアー・オブ・ジャパン
南信州ステージ
最標高地点
標高
561m
ビューポイント 2
柿野沢の体験学習
柿野沢区民センター
白砂トンネル
至龍江IC
山公園
百庚申
小林農家組合
生活改善センター
小林観音桜
小林地区
旧瀧澤医院
ひさかた温泉
南原苑
あゆみ園
下久堅バイパス
カタクリ
輝山会
下久堅診療所
ふれあい交流館(仮)
竜東デイサービス
下久堅小学校
下久堅自治振興センター
下久堅公民館
浜井場園芸
梶曲輪の桜
知久平デイサービス
下久堅保育園
駐在所
JA下久堅支所
宝の湯
知久平研修センター
南原区民センター
南原四本桜
文永寺
南原地区
三石のしだれ桜
メダカ
知久平地区
鵞流峡
標高
395m
飯田観光ホテル
よし乃亭
水神公園
水神橋
南原橋
駄科
至天竜峡
松尾清水
毛賀
JR飯田線
R151
三石のしだれ桜
梶曲輪の桜

柱5　地域に愛着と誇りがもてる、心豊かな教育・文化の香る里づくり

教育文化部会

社会情勢が急激に変化する中、良好な人間関係を築き自然や文化を継承し、歴史を伝えていく「ひとづくり」が、今こそ重要になってきています。

この点については、「アンケート等」からも、社会教育（生涯学習）として、個人の能力・資質の向上や親子を対象にした事業を重点にするという声が、たくさん挙げられています。

そこで、より住民同士が絆を深め、郷土に愛着と誇りを持って心豊かに安心して生活できる「ひとづくり」に、教育・文化の視点から取り組んでいきます。

そのために、「社会教育の推進・生涯学習の場づくり」「青少年の健全育成の推進」「文化の伝承と充実」の３分野で、地域に愛着と誇りをもてる、心豊かな教育・文化の香る里づくりを目指します。

ひさかた和紙　紙漉き

保育園・シニアクラブ　さつまいも苗植え

第１節　社会教育の推進・生涯学習の場づくり

人は、生涯にわたって体験、学習といった学びを通して成長していくと言われています。学びを通して人間関係が豊かになり、将来的にその力が地域を活性化することにもつながります。

そのために、地域の皆さんが誰とでも語り学び合い、絆を深め合える公民館活動、生涯学習の場、体育・レクリエーション活動等の充実を目指します。

緑中課外授業

１　地域に役立つ公民館活動の充実

誰でも「つどう」「まなぶ」「むすぶ」活動を推進し、地域づくりを支える「ひとづくり」を積極的に行います。

『公民館委員会専門部の活動』

（１）住民の自主と創意・工夫による公民館活動

公民館委員会専門部の活動

①文化部会

○「ふるさとコンサート」「人形劇フェスタ」を開催して、文化に触れる機会を設けます。

○文化祭を開催して、郷土文化、郷土芸能、各種団体の活動を支援し、地域へ発信します。

ふるさとコンサート

○ひさかたウォーキングを行い、郷土文化や下久堅の歴史に出会う機会を設けます。
○成人式を行い、若者（新成人）に郷土の良さを見つけてもらい、郷土愛を育てます。
○ひさかた和紙の里づくり（ひさかた和紙保存会）に協力し、郷土文化の継承に努めます。

②体育部会
○スポーツやレクリエーションを通して、健康増進や地区民の交流を推進します。
○スポーツ団体の活動充実と支援を行います。
○ニュースポーツを通じて、子どもから高齢者までの交流と他地区との交流を推進します。
○体育事業を通して、地区民が楽しめる行事を提案します。
○運動会は全地区が参加できるような種目を提案します。

③広報部会
○年４回の広報発刊やまちづくり委員会ホームページにより、本館や分館の公民館事業、まちづくり委員会の情報を地域に発信します。
○館報「ひさかた」縮刷版の作成をします。

④育成部会
○子どもたちが地域を知り、地域に誇りを持てるような事業を実施します。
○子どもたちのより健全な育成を支援するために、関係団体との連携を積極的に推進します。
○ＳＪＣ（下久堅ジュニアクラブ）の充実・発展のために積極的に支援します。
○「あいさつ運動」「わが家の結いタイム」等を通じて、親子・家庭・地域との絆を深めます。

『地区七分館の公民館活動』

地区七分館は、その地区の社会教育拠点として、良好な人間関係を築き自然や文化を継承し、堅い絆作りの中心となって独自の活動をします。

また、公民館委員会専門部と協働して、下久堅地区の公民館活動を共に推進します。

（２）社会教育機関としての公民館活動
○地域課題、生活課題に対応した学級・講座の充実を図ります。（ひさかた村塾・乳幼児学級など）

文化祭

ニュースポーツ（クップ）体験会

親子魚つかみ取り体験

ひさかた村塾講演会

○地域交流の場として公民館や「下久堅ふれあい交流館(仮称)」の活用を図ります。
○ 自主的に社会的な活動をしようとするグループの立ち上げの支援や、活動している社会教育関係団体との連携を行います。

2 生涯学習の場づくり

一人ひとりの主体的な学びを礎にして、生きがいや潤いのある学習の場づくりを推進し、地域を支える「ひとづくり」の支援をします。

（1）学習交流やふれあいの支援

○各学習講座や体験学習の企画、周知及び発表の場づくりを行います。
○個人の思いや趣味を生かしたサークル活動の促進や発表の機会づくりを支援します。
○世代を超えた交流による人材育成を図ります。
○各種講座や団体の指導者・後継者の育成、地域組織化を支援します。

（2）読書環境の充実（市立中央図書館下久堅分館を中心として）

○本を真ん中にして世代を超えた交流の場､「おはなし」の楽しさを知る場、自主自立自由な読書・学習の場を展開します。
○図書館（週２日：水曜土曜開館）の利用を促進します。
○図書館分館と公民館・保育園・小学校などが協力しての企画・事業を実施します。
○読み聞かせボランティアや図書館担当者による読み聞かせの活動の充実を図ります。

小学校親子体験教室

図書館クリスマス会

保育園収穫祭

第２節 青少年の健全育成の推進

子どもたちは、これからの下久堅の将来を担う地域の大切な宝です。下久堅の子どもたちが自ら進んで社会参加できることを目標にして、「飯田コミュニティスクール」と協働した家庭・保育園・学校・地域が連携して青少年の健全育成を推進します。

SJC 見学会

1 家庭・保育園・学校・地域の連携

「飯田コミュニティスクール」と協働し家庭・保育園・学校・地域が一体となって、青少年の安全確保と健全育成を促進します。

（1）親子での地域活動参加

○公民館活動や祭り、ごみゼロ運動などへ親子での参加を促します。

（2）事業実施に当たっての連携と協力

○小学校PTAの「子育て部」の事業（あいさつ運動、結いの日、インターネット講演会等）へ連携・協力します。

○「下久堅子ども応援隊」の民泊体験学習等を通して、学校・公民館・地域が一丸となった子育てを支援します。

○小中学校９年間を通したふるさと学習、キャリア教育を支援します。

小学校５年生宿泊体験学習

2 子育て・教育支援

子どもの健やかな育ちを、地域全体で乳幼児から青少年まで一貫した支援に努めます。

（1）安心して子育てのできる地域づくり

○小さな時からの親同士の和・輪が持てる場づくり地域づくりに努めます。

○あいさつ運動を通して子どもを見守る地域づくり環境づくりを推進します。

（2）乳幼児学級の充実

○乳幼児学級と保育園が交流し、育児講座の充実を図っていきます。

（3）子どもと地域住民のふれあいの場づくり

○「児童クラブ」運営へ協力します。

○「放課後子ども教室」活動の充実を図ります。

乳幼児学級

放課後子ども教室（おやす作り）

第３節 文化の伝承と充実

下久堅には、貴重な歴史・自然・文化的遺産や伝承文化が数多くあります。また、下久堅を会場に「ツアー・オブ・ジャパン」が開催されるなど、新しい文化も定着しております。

旧瀧澤医院（飯田市有形文化財）

これらの地域文化の保護・伝承に努めるとともに、地域に愛着と誇りを持ち、心豊かな子どもたちの育成や文化の伝承を担う「ひとづくり」を大切にした事業を支援します。

1 民俗、文化、建造物、自然等の歴史的遺産の伝承と保存

下久堅の貴重な文化、歴史的遺産を豊富に見学・体験や学習できる機会を設け、地域に愛着と誇りを持つ「ひとづくり」の事業を支援します。

（1）歴史的行事の伝承と保存

○「御柱祭」、「獅子舞」、「参代太鼓」など各地区の祭りの伝承文化を支援します。

（2）歴史、民俗、先人の知恵の継承

○地域一体となっての地区の文化財の保存、継承、学習会に努めます。（各地区城跡、「百庚申」、「文永寺」、「常信禅院」など）

（3）文化的遺産の保存、記録、写真などの整備

○公民館にある、ひさかたコーナーに各分館の紹介などを展示し、充実を図ります。

○地域の名勝、地名の保存と保全に努めます。（「梶曲輪の桜」・「旧瀧澤医院」）

（4）『ふるさとマップ』などの活用と整備

○「ひさかたガイドマップ」や「ウォーキングマップ」の活用を推進します。

（5）ひさかた和紙の里づくり

○「ひさかた和紙」の保存と継承、後継者の育成を行います。

○「ひさかた和紙」の文化を学ぶ学習会を開催します。

2 文化・芸術活動の支援と育成

下久堅地区の各種文化・芸能芸術の直接体験を大切にした支援をします。

（1）ツアー・オブ・ジャパンの支援

○選手達との交流を推進します。

○関係諸団体と協力して地域全体で盛り上げるための取り組みに努めます。

（2）「ふるさとコンサート」「書き初め教室」の開催

（3）「人形劇フェスタ」開催への支援

○小学校や保育園、各分館の「人形劇フェスタ」への取組を支援します。

御柱祭

ひさかたガイドマップ

1年生　トロロアオイの栽培

TOJ（ツアー・オブ・ジャパン）

V 資料

1 地区住民意識アンケート結果の概要

平成29年９月実施

◆**アンケート対象抽出** …… 下久堅に居住する高校生以上を年代別・男女別・地区別に無作為に抽出した方々と壮年団(10人)・保育園保護者会(10人)・小学校ＰＴＡ(10人)に団体として依頼

◆**アンケート対象者** …… 男性140名女性140名：計280名＋諸団体30名

◆**アンケート配布方法** …… 郵送

◆**アンケート回収方法** …… 返信用封筒による無記名回答

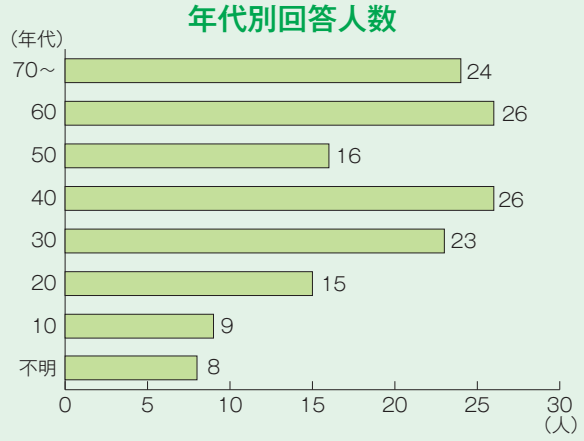
◆**回収結果** …… 回収数、147通　回収率47.4％（前回より0.8ポイント減）

◆アンケート選択項目「その他」の意見や自由記述欄については、主な意見と概要を掲載しました。（記述の全ては自治振興センターに保管して、申し出があれば閲覧可能です。）

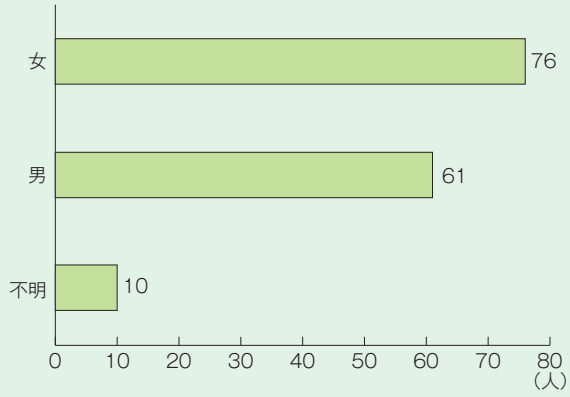
回答数の実態

地区別	下虎岩	知久平	南　原	小　林	稲　葉	柿野沢	虎　岩	不　明	計
人　数	51	34	18	7	3	9	22	3	147

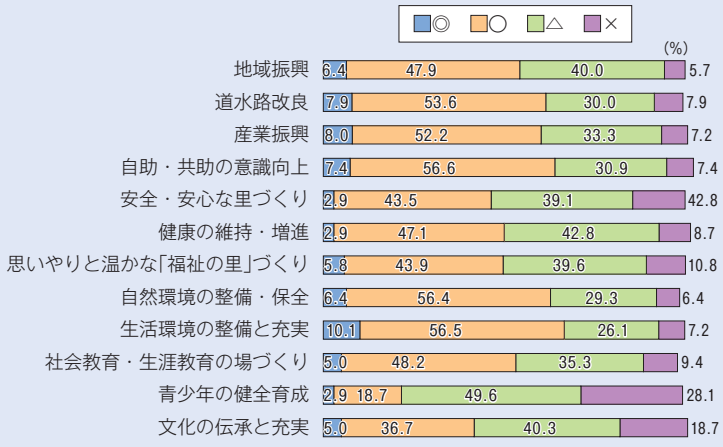
年代別回答人数



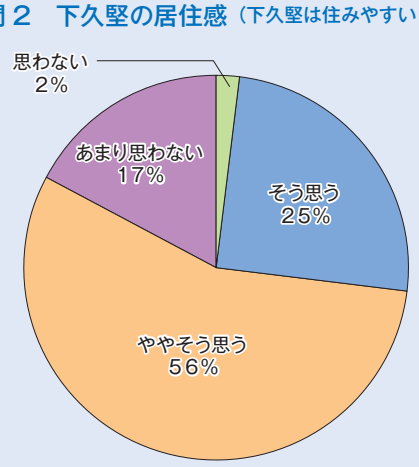
性別回答人数



問１　第８次基本構想実践の評価

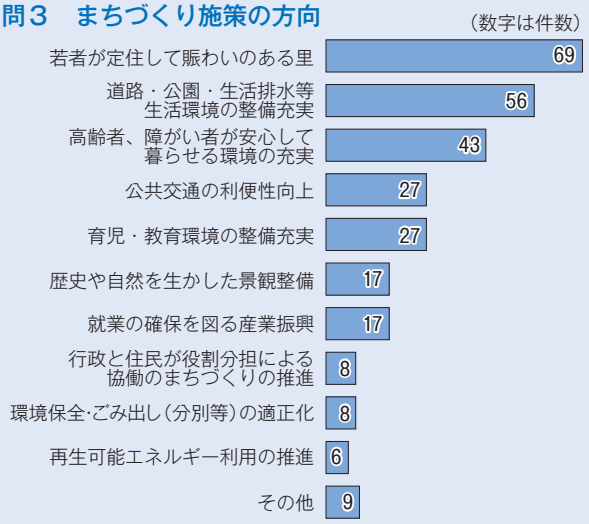


問２　下久堅の居住感（下久堅は住みやすい？）



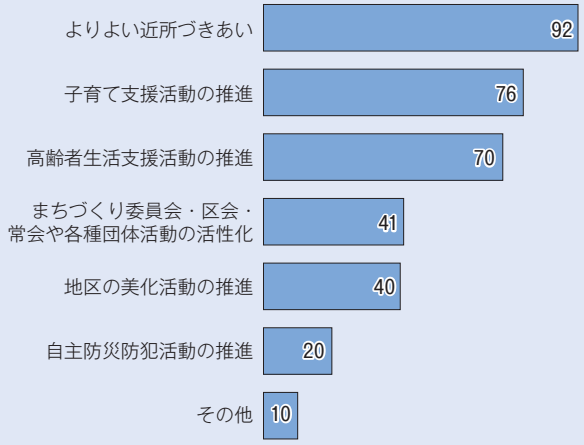
※◯数字の項目は、その他の意見の概要

問３　まちづくり施策の方向



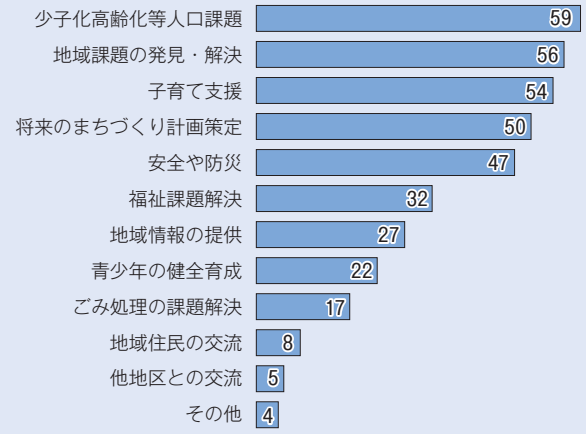
①まちづくり委員会組織の根本的なあり方､小地区の役員体制の見直し｡2人
②高齢化にむけた生活・食料品の買い物環境
③道路改良、子どもの遊び場、コンビニ等、お嫁さんの確保　3人

問４　「下久堅に住み続けたい」と実感するために、住民自身が出来ること



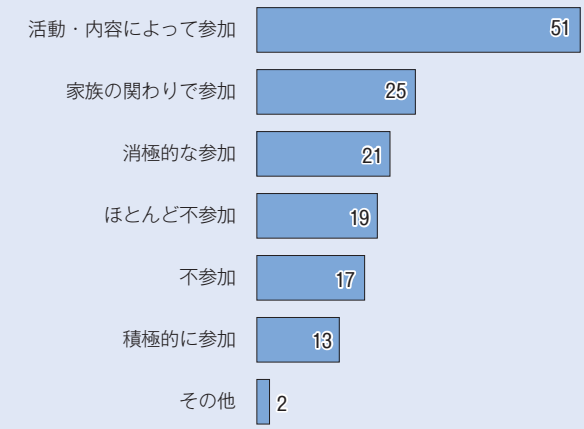
①若い人に来てもらうには地域を整備、充実する必要がある。そのための規制緩和も必要でしょう。2人
②自治会への入会
③若者が意見を言いやすいコミュニティ

問５　まちづくり委員会に期待する活動



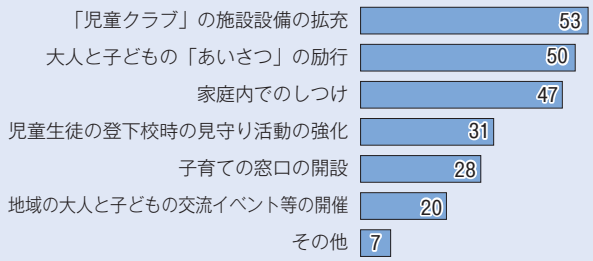
①他地区との交流・勉強会も考えたら良いのでは。
②区会等で今､下久堅でどういうことが行われているのか周知してほしい。
③昨年にならって行っている活動を続けてきて､現在の自治体の継続困難につながっているのであれば､「昨年にならって」という事はやめた方が良いのでは。必要性を精査することが大事に思います。

問６　まちづくり活動への自分自身の参加状況



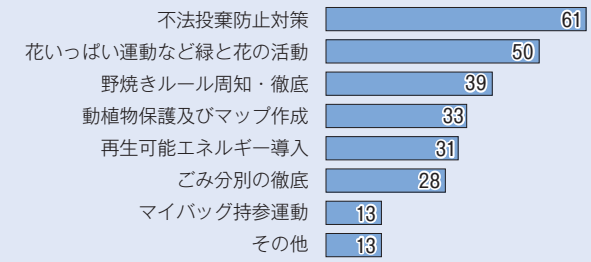
①参加しない人の理由を聞いてほしい
②仕事をしていかないと生活がなりたたない中で、行事があると、仕事、時間が犠牲になるので、できるなら、行事がない方がいい。

問７　地域で取り組みたい子育て支援策



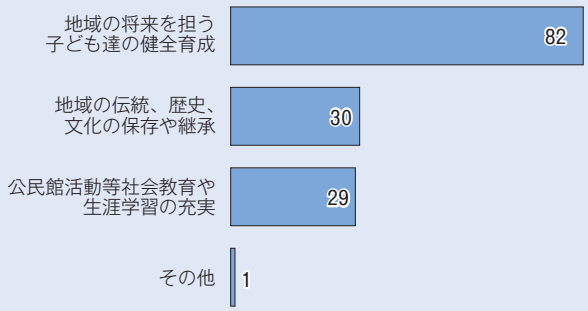
①スクールバスの整備と上久堅、下久堅小学校の統合。保育（せめて年末年始以外の）登園日の拡大等
②学校とは別の遊具、東屋、広場等のある公園の整備、設置
③児童クラブの支援員を増員し､保護者が当番で出ないよう家庭に負担のないようにしていただきたい

問８　自然や生活環境において優先的に行う改善事項

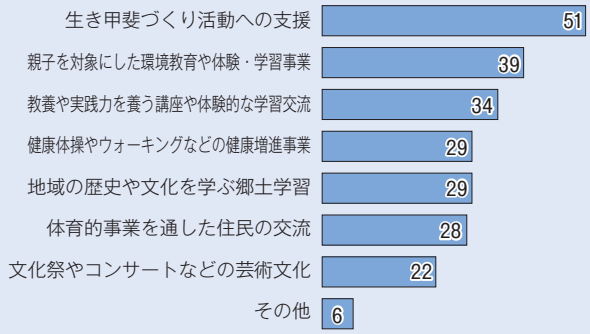


①外来植物の駆除　2人
②利用していない土地を有効利用すること。公園や宅地にして、生活できるように。
③道路、荒れている森林・竹林等の公費による整備　5人

問９　地域としての教育分野で今後の重要な取り組み

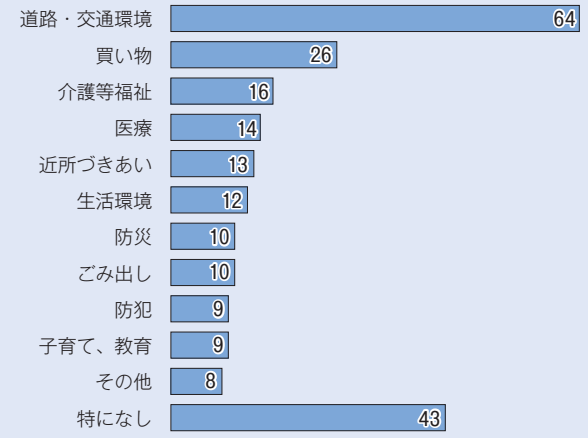


問10　社会教育（公民館）分野で重点的に取り組みたい事業



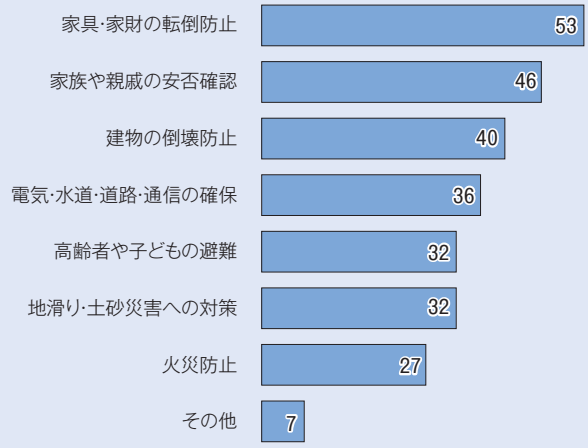
①まずは公民館に子どもが寄りやすい環境にしてほしい。
②長期休業中の子どもたちの学習の場の提供。
③紙すきの里づくり。

問11　暮らしの中での悩みや困りごと



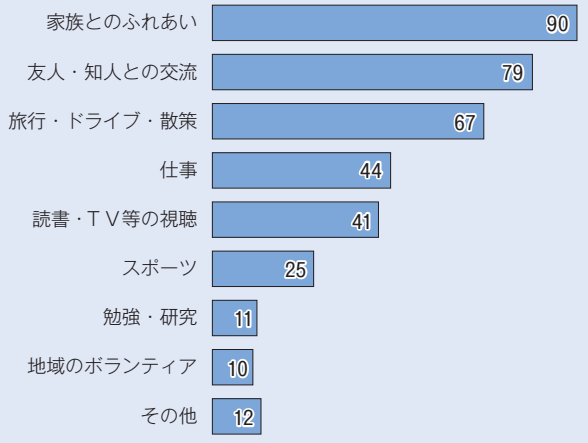
①住まなくなった建物及び所有地の管理のあり方（防犯等）
②山林への不法投棄
③ここ数年の間に捨て猫が多くなり、その猫たちが殺処分されるのはかわいそうと思い世話をしているが金銭的にも大変であり、捨て犬、捨て猫たちを増やさないよう、知恵を出してほしい。

問12　東南海地震を想定し、実施した防災・減災対策



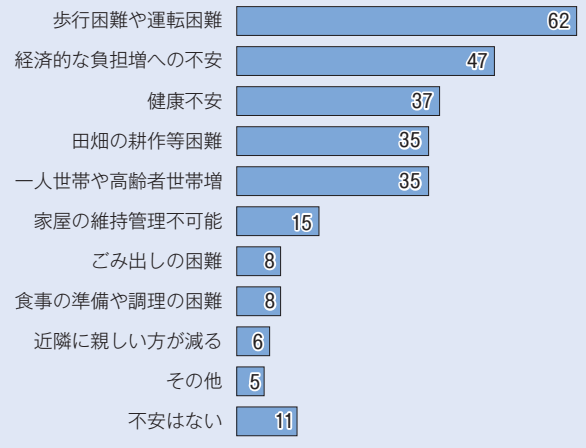
①防災グッズ、家族の健康情報の整理（薬、持病、かかりつけ医）
②食料や飲料水の備蓄、石油ストーブ、いざとなったら、鉄骨ハウスへ移動予定
③家族の安全確保と避難経路の仮想。
④Ｊアラート

問13　自分の生きがい



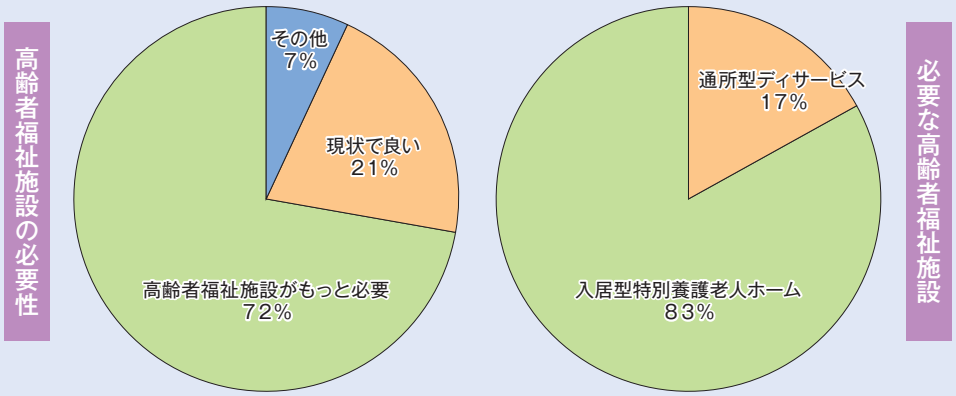
①動物　植物を育てる。
②農業　3人
③彼女とのデート
④吹奏楽
⑤飲み会

問14　少子高齢化社会への不安事項



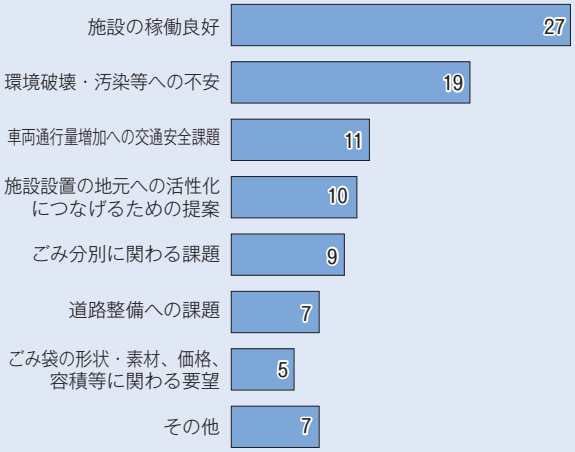
①施設に入居するほどの年金もないし…どうなることかと不安がある。2人
②社会保障　3人
③地区の役が２役３役と重なる。高齢化が進み、地区の運営が難しくなる。
④結婚できるか心配

問15　下久堅地区の高齢者福祉施設の必要性



①稲葉クリーンセンター（迷惑施設）の交換条件に特養の建設とかできなかったのか？
②土日に地域の行事等もあるので、通所ディが土日もあるとよいと思います。

問16　稲葉クリーンセンター稼働に関わる記載の概要と主な意見



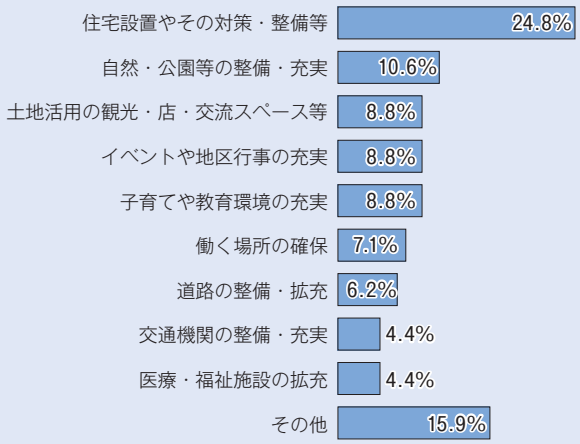
①今後、長期間稼働する大型施設であり、規則に則った安全運転を切に望む。地域の迷惑施設としないで、ランドマーク的な位置付けとし、可能な限り有効利用を図り、地域振興に役立てていければ良いと思う。
②地域振興策の計画的な進捗や関連事業等の導入を図り、地域の社会資本整備が進めば良いと思う。
③まず施設が出来、里山が削られなくなった事が悲しく思います。順調に稼動して行く事を願います。今後、飯田市や周りの村にこのような施設が作られる事がないよう社会全体で環境にやさしく（言い換えれば人間・動物・植物全体にやさしい）生活をしていく事が必要だと思います。
④環境保全に充分留意して欲しい。大気汚染、水質汚染、交通事故等。
⑤通り道に大型の車が多く通るので、道路の拡充や道に張り出した支障木の伐採等、道を良くして下さい。クリーンセンターが地元に来たことによって、住民が道路に関して住み良くなると良いと思います。今だけでなく、継続してずっと良くなることを願います。
⑥地元にクリーンセンターができたことで、大きなごみなどを持ち込んで家などを片付けようと思える。しかし、仕事などで平日なかなか行くことができないので、もう少し土日などの受け入れ日があるとありがたい。

問17　地区の特色あるまちづくりのテーマ

	テーマ
自然・景観	生活環境近辺の河川整備
	自然と遊ぶ
	歴史の里
	アウトドアを満喫できる里
	公園をほしい
	ツアー・オブ・ジャパン
	ひさかた桃源郷
	景観のよい景色も人も見通しのよい里
	はなももロード
	桜色に染まる山里
	いろんな景色
	生活道路
	広葉樹の森づくり
	夜景
	緑を満喫できる里
	風の学舎
	景観のすばらしい里
若者・子育て	子供に安心な高齢者にも安全な道づくり
	若者の定住
	住みよい里づくり
	移住しやすい環境
	若者が定住できる町づくり

	テーマ
若者・子育て	遊び場所（自転車に乗れる所）（公園等）
	憩いの場をつくる　子どもたちの集えるところ
	空き家への移住者の入居
	住宅が増えて子育てのし易い地区に
	ＵＩターン
	人が集う場所
	地域が見守る子育ての里
	若者が未来を決めるまち
	子どもが遊ぶ広場
和紙	和紙
	ひさかた和紙の保存
	ひさかた和紙で手紙を書こう
	ひさかた和紙の里
産業振興	都市農村交流
	主要産業としての農業振興
	農業ふれあい
その他	地区と地区の交流会
	都会化
	下久堅の特色のアピール
	道路
	コンサート・スポーツ
	マラソン大会

問18　下久堅地区人口 3,000 人を維持するための施策



問19　自由記述欄に記載された概要（数字は同様な投稿件数、順不同）

- 若者やUIターンの方を含めての住宅分譲等の施策を推進し、人口を増やしたい。12人
- 子どもが遊べる公園や駐車場の増設、歩道設置の通学路の整備を。7人
- 人口減少、少子高齢化、荒廃農地、空家対策を何とかしたい。5人
- 下久堅に商店が欲しい。4人
- 「下久堅が大好きだ。」住民のアイディアを生かすために投稿箱を設置し、イベント等を実施して、活性化を図りたい。4人
- まちづくり委員会や地域のために陰で支えている方々に感謝。4人
- 稲葉クリーンセンターやその周辺、旧公民館後地の地域全体で有効活用を。2人
- 役員の皆さんは、年一回のアンケートを採って、是々非々でテキパキと活動していただきたい。2人
- まちづくりでは、経済的な負担を増やさないで、個々の意識改善で子どもから年配者までの繋がりを大切にし、安心な暮らしや自然を大切にした下久堅にしたい。2人
- 住民の人の良さをまちづくりに生かし、7地区の活性化のために、和紙作り等を含めて地域協力隊の導入を。2人
- 人口確保目的の住宅建築のため、農地転用の手続きをスピーディーにしたい。2人
- 基本構想策定委員は、数よりも意欲ある人に。
- 竜東・飯田市全体との連携を図りながら田舎の良さを大切にしたまちづくりを望む。
- 水神橋の花火を盛大にしたい。
- 文永寺を何とかしたい。
- 市民運動会の参加者の減少、7地区の人口の偏りを地区合併参加で是正したい。
- 少人口地区の役員は大変、隣接地区への合併等で何とかならないか。
- 昔ながらの“ムラ”意識を変えないと転入者には住みづらい。
- 訪れる方々や巡回業者が分かりやすい地区の案内看板を立てたい。
- 紙漉きの伝承をなくしたくない。
- 先ず自分で出来るまちづくり活動への参加を。（一例：ごみ集積所の整備）
- 勤務にかまけてまちづくりのイベントに参加できず心が痛む。
- 高齢になると人との交流が減る。できるだけイベントに参加して健康寿命を延ばしたい。
- 通学のための交通機関整備を。
- 一人でも気軽に出来るボランティア活動や地域交流の場が欲しい。
- 下久堅は山が多く広い。コンパクトになって欲しい。
- 地域の活性化のためには、地区外の第三者を交えた議論が必要だ。
- 土日の地域行事への参加の強制は、勤務者にとって負担になる。
- これからの子どもたちのことを第一に考えて欲しい。
- 高齢者が考えるまちづくりと若者が考えるまちづくりにズレがある。八方美人的な方針よりも具体的な提案をし、実現の可能性や予算等を考慮して計画実施への寄附金を集めるなどの方法も採り入れたい。
- 子どもたちに地域の特産品や伝統を伝え、下久堅への愛着を持たせ将来の帰郷の思いへ結びつけたい。

2 第９次基本構想策定委員会組織

部会	諸団体・組織等
地域振興（24名）	まちづくり委員会（自治委員会）
	商工会
	農業委員
	JA下久堅支所
	下久堅郵便局
	堤防建設期成同盟会
	南原高齢者クラブ
	学識経験者
	下久堅地域協議会
	下久堅自治振興センター
生活安全（20名）	生活安全委員会
	赤十字奉仕団下久堅分団
	消防団第六分団
	下久堅壮年団
	商工会
	下久堅駐在所
	自治委員会女性部
	知久平シニアクラブ
	学識経験者
	下久堅地域協議会
	下久堅自治振興センター
環境保全（13名）	環境保全委員会
	財産区議会
	下久堅壮年団
	商工会
	自治委員会女性部
	下久堅マレットゴルフ同好会
	花ふぶき会
	風の学舎
	下久堅自治振興センター

部会	諸団体・組織等
健康福祉（22名）	健康福祉委員会
	民生児童委員協議会
	児童クラブ
	身体障害者協会下久堅支部
	飯田市ひとり親家庭福祉会
	竜東デイサービスセンター
	下久堅診療所
	あゆみ会
	自治委員会女性部
	遺族会
	手をつなぐ親の会
	柿野沢シニアクラブ
	下久堅自治振興センター
教育文化（25名）	公民館委員会
	公民館専門委員会
	自治委員会女性部
	保護司会
	下久堅保育園保護者会
	下久堅小学校PTA
	緑ヶ丘中学校PTA
	飯田市立中央図書館下久堅分館
	下久堅保育園
	下久堅小学校
	緑ヶ丘中学校
	ひさかた和紙保存会
	下久堅城址保存会
	下虎岩寿の会
	下久堅公民館

下久堅の歌

作詞　和地　清
作曲　羽場　匡雄
編曲　平沢　和人

一

南信濃の空広く
若葉の桑の輝(かが)よへば
穂麦の丘に鳩啼(な)きて
蚕飼(こがい)の業(わざ)は展(ひら)けたり
ああ連峰のその麓(ふもと)、我等(われら)が郷土下久堅
ああ連峰のその麓、我等が郷土下久堅

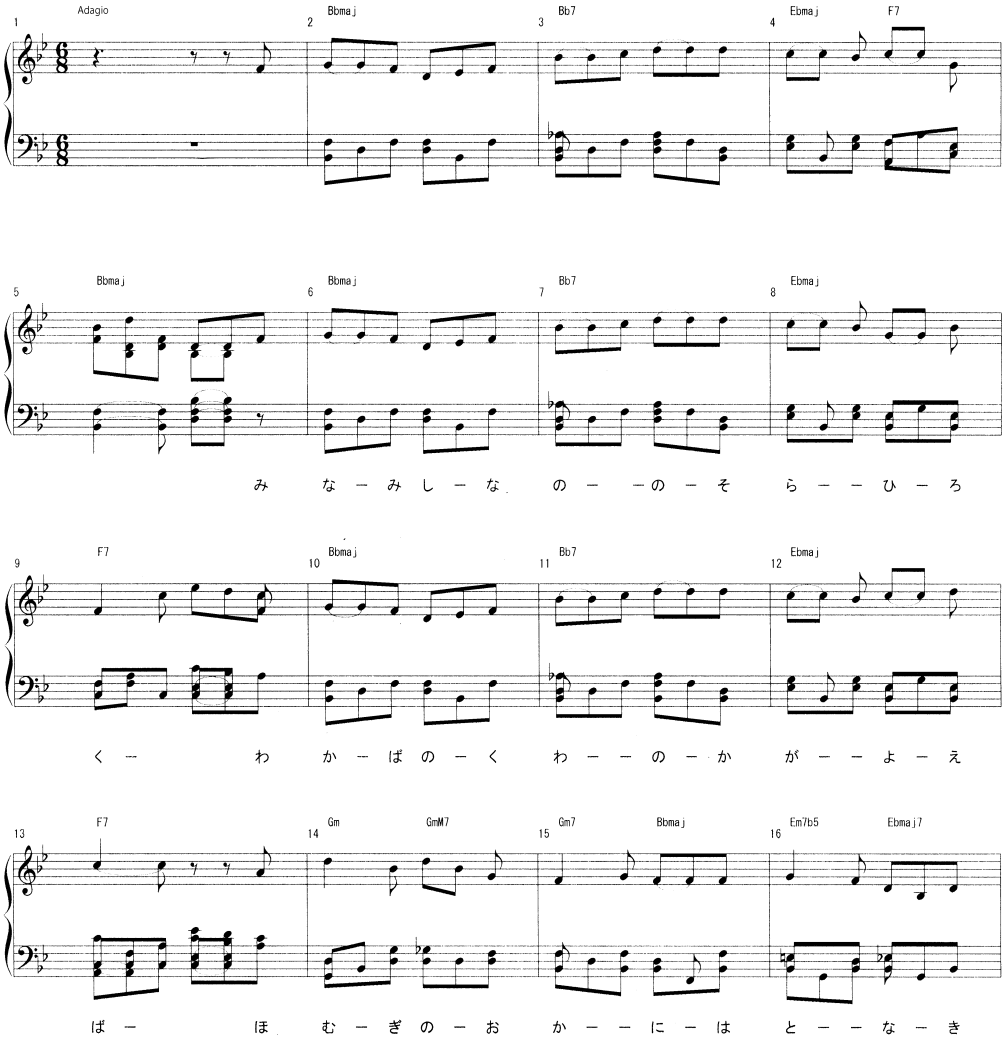
二

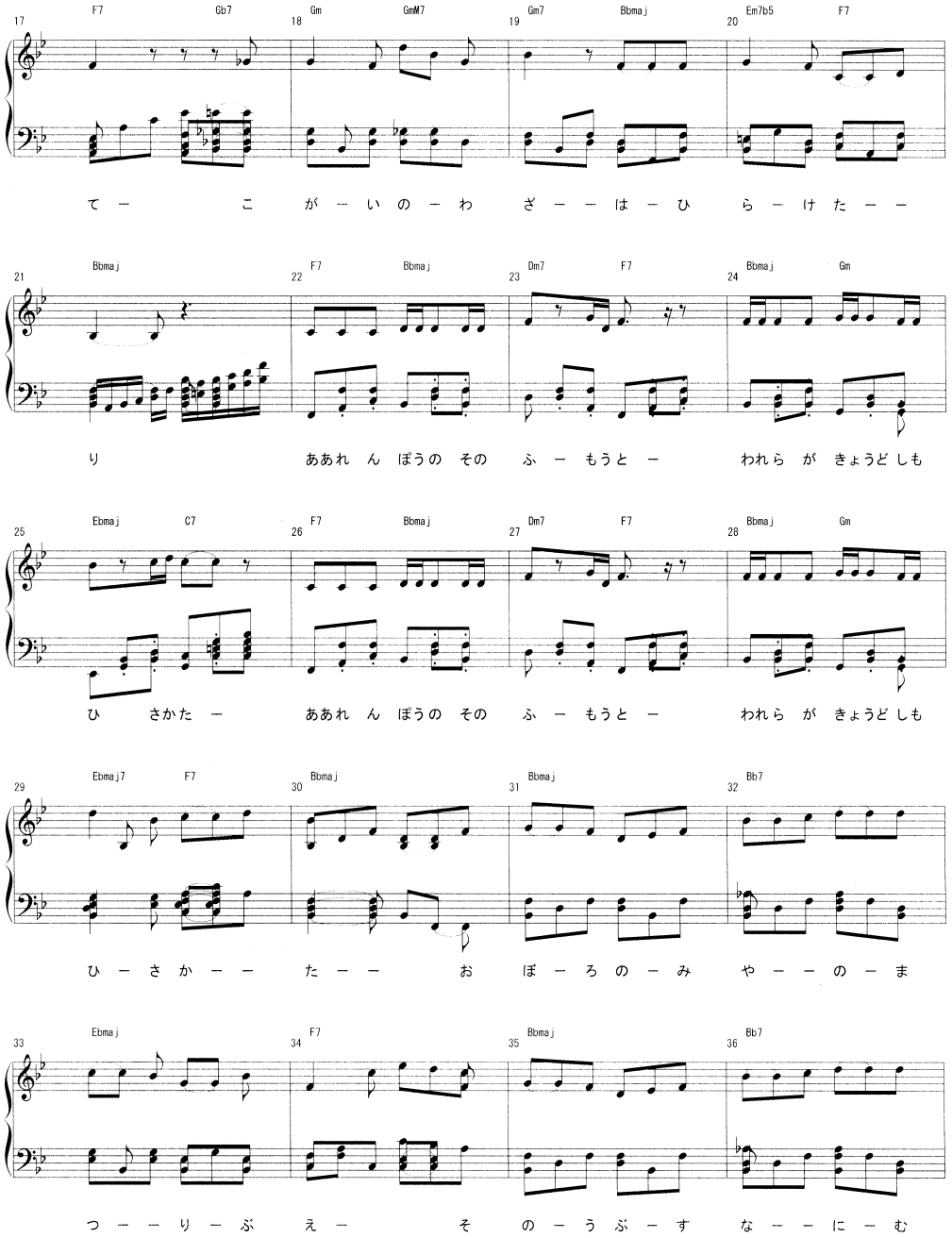
朧(おぼろ)の宮の祭笛
その産土(うぶすな)に結ばれて
まこと一筋いそしめば
いのちは若し土浄(きよ)し
ああ清明の朝桜、我等が郷土下久堅
ああ清明の朝桜、我等が郷土下久堅

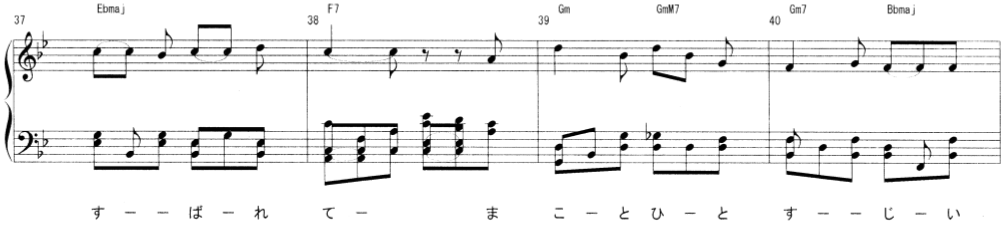
昭和の下久堅小学校・中学校・村役場

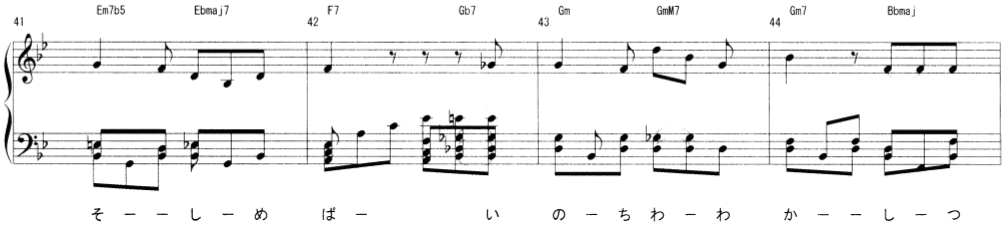
下久堅の歌（ピアノ譜）

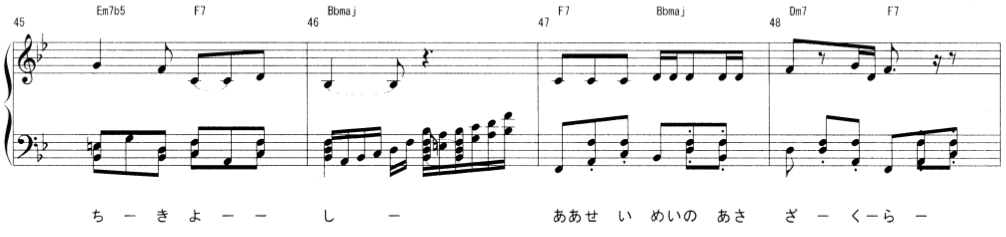
作詞　和地　清
作曲　羽場匡雄
編曲　平澤和人

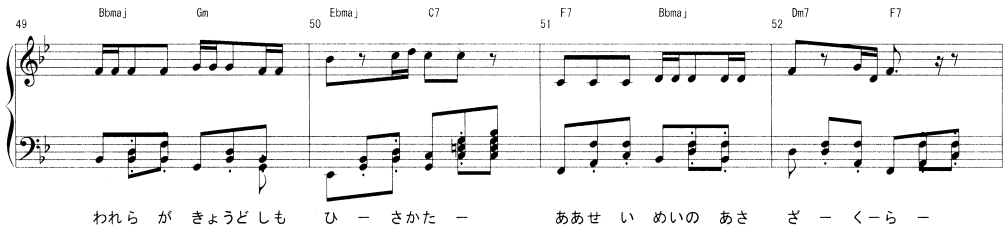


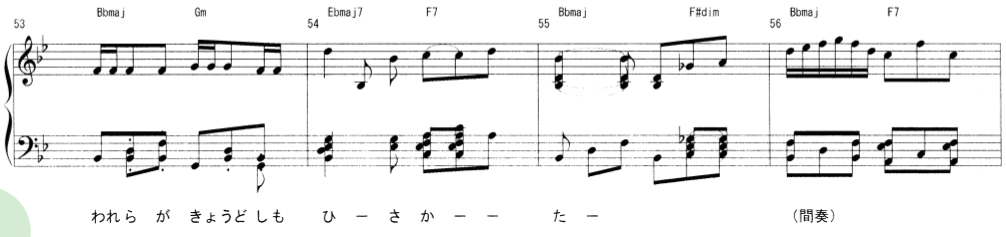


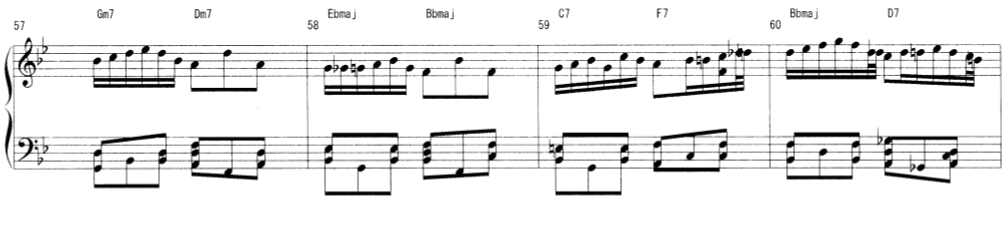

37 Ebmaj 38 F7 39 Gm GmM7 40 Gm7 Bbmaj
す ー ー ば ー れ て ー ま こ ー と ひ ー と す ー ー じ ー い

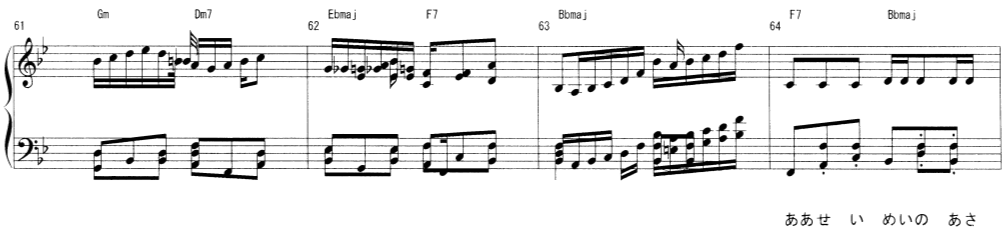

41 Em7b5 Ebmaj7 42 F7 Gb7 43 Gm GmM7 44 Gm7 Bbmaj
そ ー ー し ー め ば ー い の ー ち わ ー わ か ー ー し ー つ

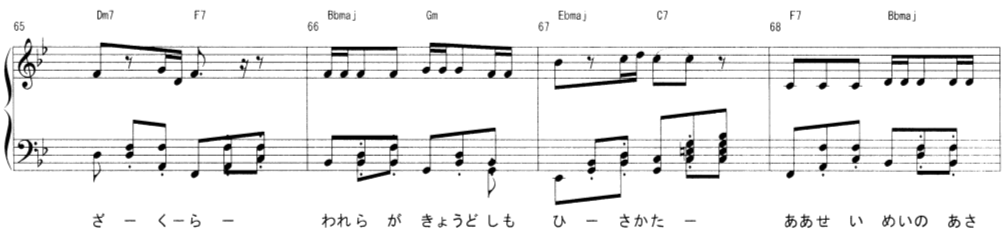

45 Em7b5 F7 46 Bbmaj 47 F7 Bbmaj 48 Dm7 F7
ち ー き よ ー ー し ー ああせ い めいの あさ ざ ー くーら ー

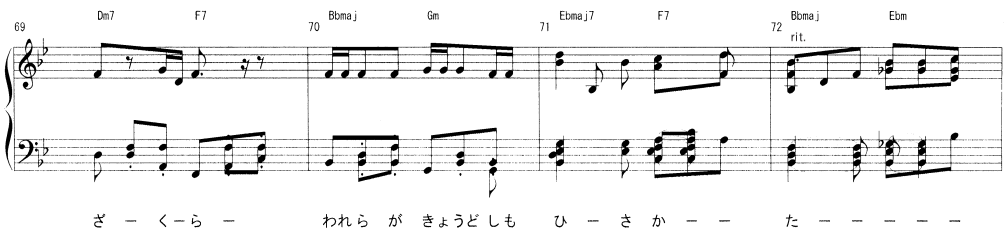

49 Bbmaj Gm 50 Ebmaj C7 51 F7 Bbmaj 52 Dm7 F7
われら が きょうど しも ひ ー さかた ー ああせ い めいの あさ ざ ー くーら ー

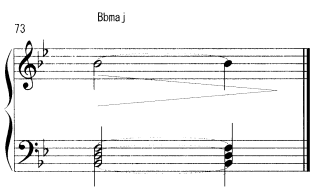

53 Bbmaj Gm 54 Ebmaj7 F7 55 Bbmaj F#dim 56 Bbmaj F7
われら が きょうど しも ひ ー さ か ー ー た ー （間奏）


57 Gm7 Dm7 58 Ebmaj Bbmaj 59 C7 F7 60 Bbmaj D7


61 Gm Dm7 62 Ebmaj F7 63 Bbmaj 64 F7 Bbmaj
ああせ い めいの あさ


65 Dm7 F7 66 Bbmaj Gm 67 Ebmaj C7 68 F7 Bbmaj
ざ ー くーら ー われら が きょうど しも ひ ー さかた ー ああせ い めいの あさ


69 Dm7 F7 70 Bbmaj Gm 71 Ebmaj7 F7 72 Bbmaj rit. Ebm
ざ ー くーら ー われら が きょうど しも ひ ー さ か ー ー た ー ー ー ー ー


73 Bbmaj

自然も人も輝ける里

ひ さ か た

第９次下久堅地区基本構想

〈2018～2022年度〉

平成30年３月　印刷発行

発行　下久堅地区まちづくり委員会

下久堅地区基本構想策定委員会

〒399-2603　飯田市下久堅知久平1082－１

飯田市役所　下久堅自治振興センター内

ＴＥＬ（0265）29－8001

しもひさかたホームページ　http://shimohisakata.com

この構想は、ムトス飯田まちづくり、地域づくり応援事業の助成金を受けて作成しました。